

光の道



1階平面図 (S=100)

コンセプト
 奈良の伝統工芸品である高山茶碗を身近に触れることができるこの文化学習複合施設。大きなエントランスホールをくぐると、中庭沿いに長く続く廊下が見え、その奥には、高山茶碗を体験できるアトリエがある。道路側からカマやアトリエを見て興味を持った人たちが、施設の奥側まで誘導されるような配置にした。中庭には高山茶碗でお茶を煮てた後に、心地のいい空間でお茶が楽しめる場所も設けた。道路側から建物を見たときに、カマと階段と中庭がガラスで透けていて外からも、施設内の様子が見えたり、奥まで光を取りこめるようにした。また、茶碗に関する建物と外からも分かるような外観にした。

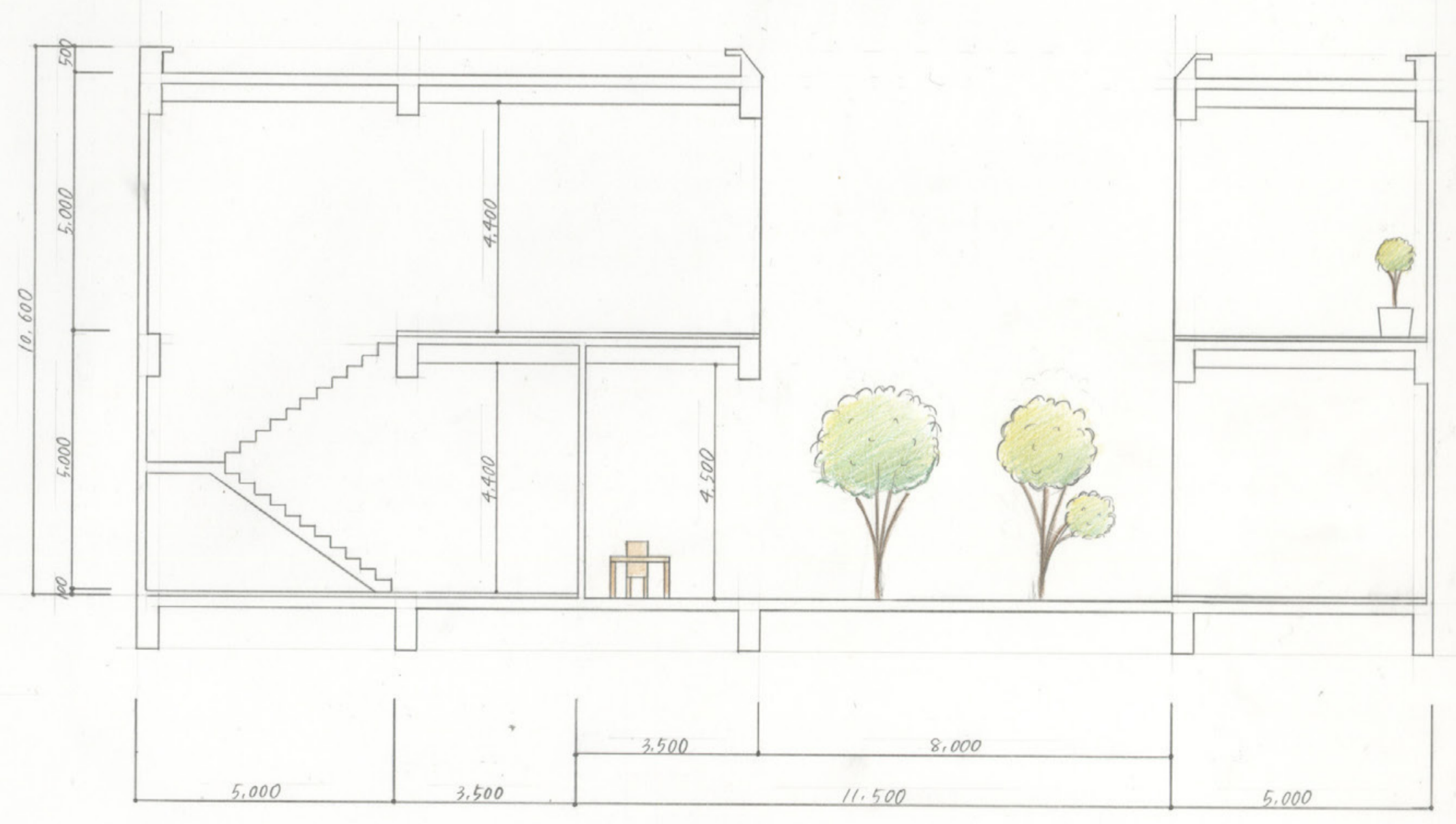
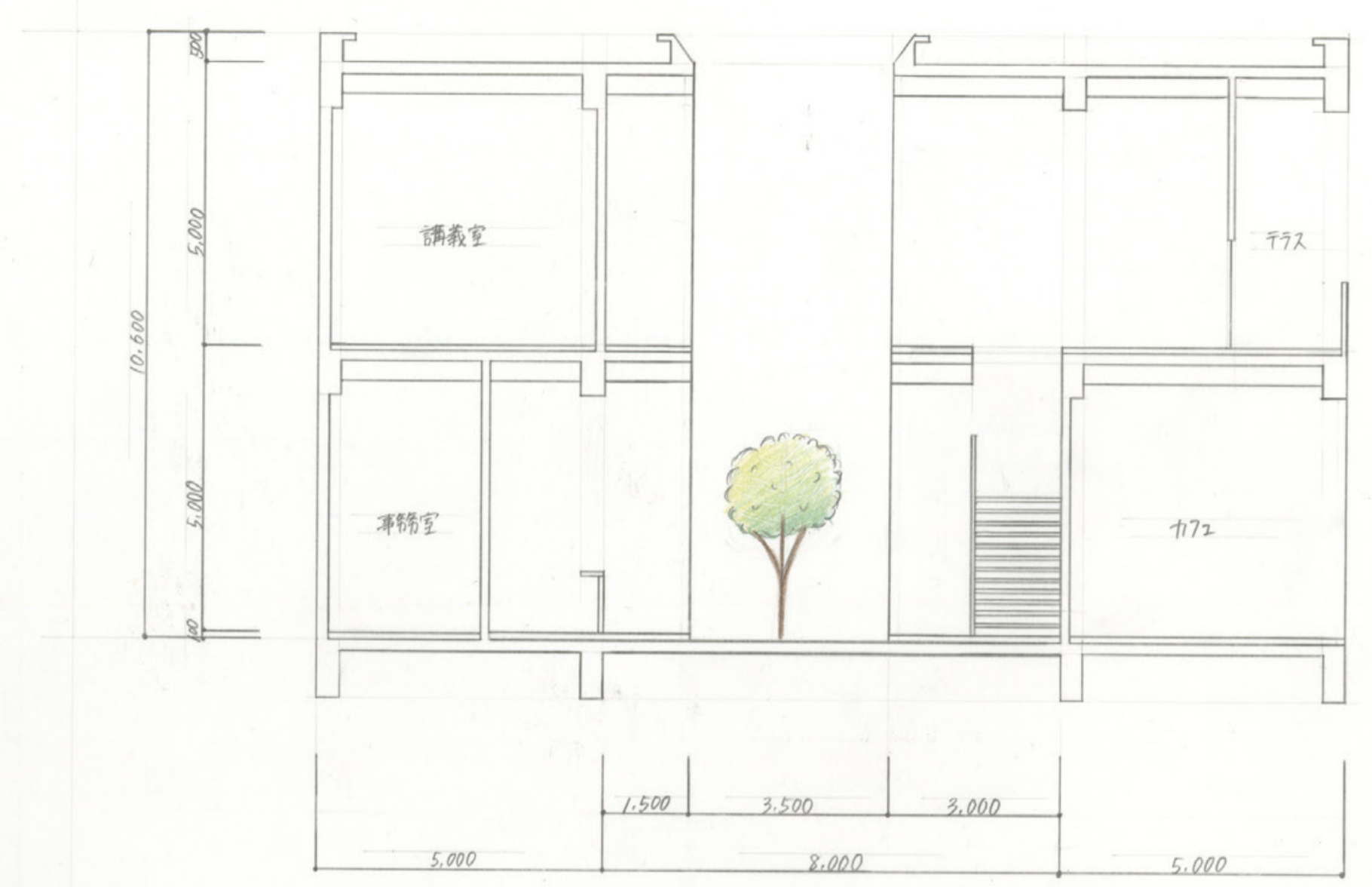
仕上げ表

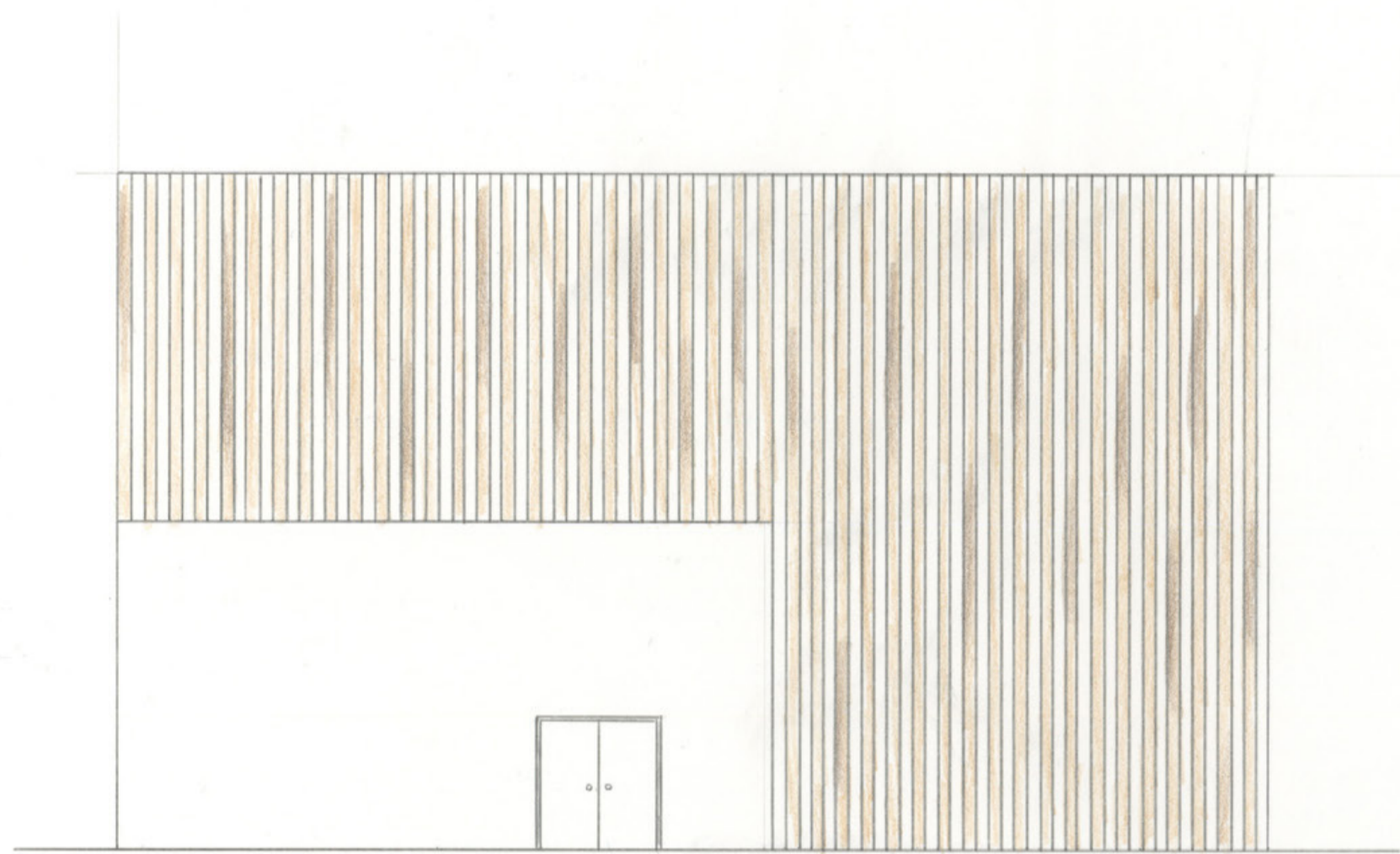
外部	屋根	シート防水/塗膜防水		
	外壁	ガラス、漆喰		
内部	多目的ホール	床	壁	天井
	カマ	70-リ=グ	ロウクワ-ル化粧板	ロウクワ-ル化粧板
	アトリエ	70-リ=グ	ガラス	EP塗装
	ラウンジ	70-リ=グ	EP塗装	EP塗装

面積表

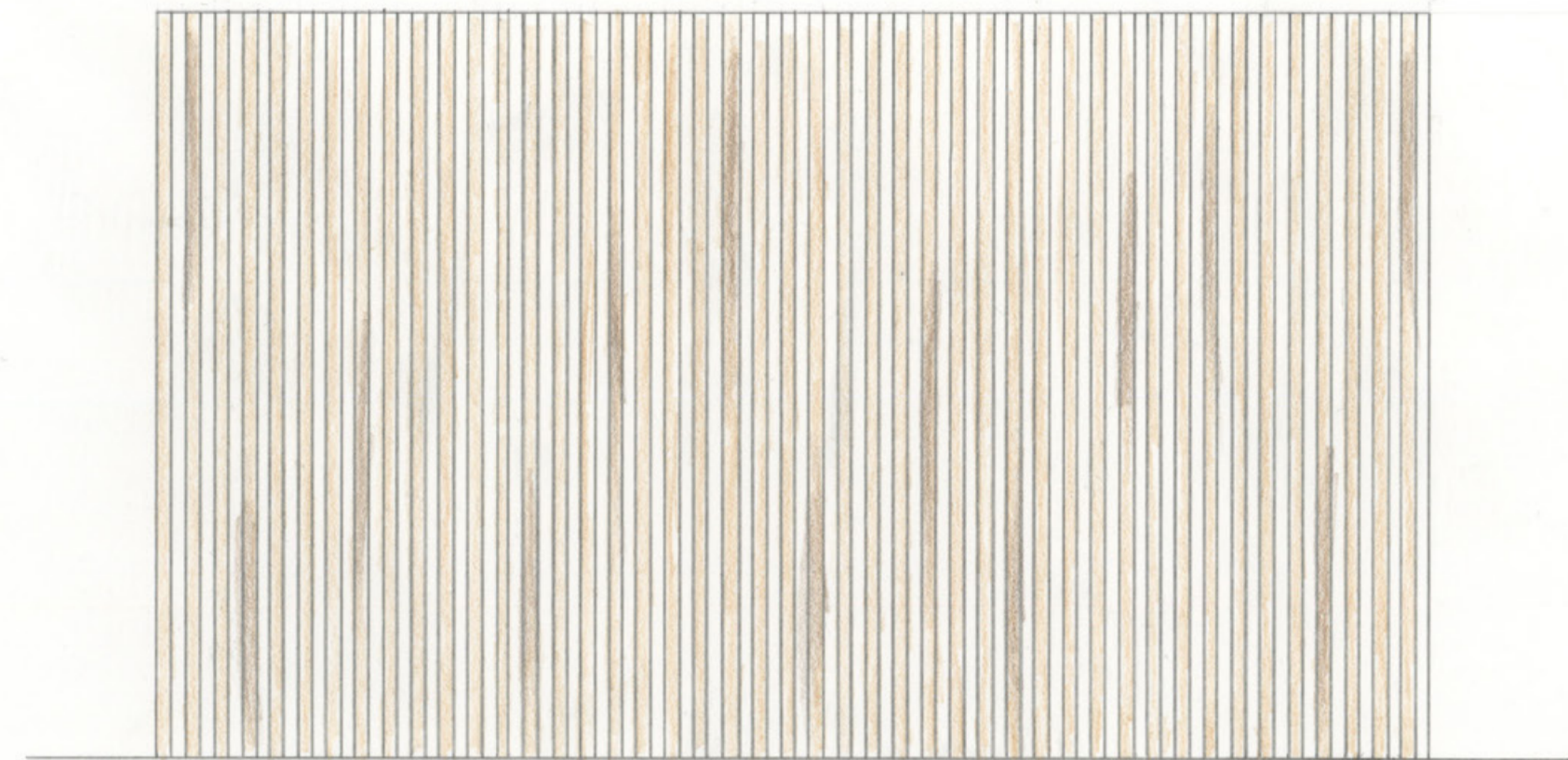
敷地面積	744 m ²	
建築面積	442 m ²	
床面積	1F	422 m ²
	2F	417 m ²
延べ床面積	839 m ²	



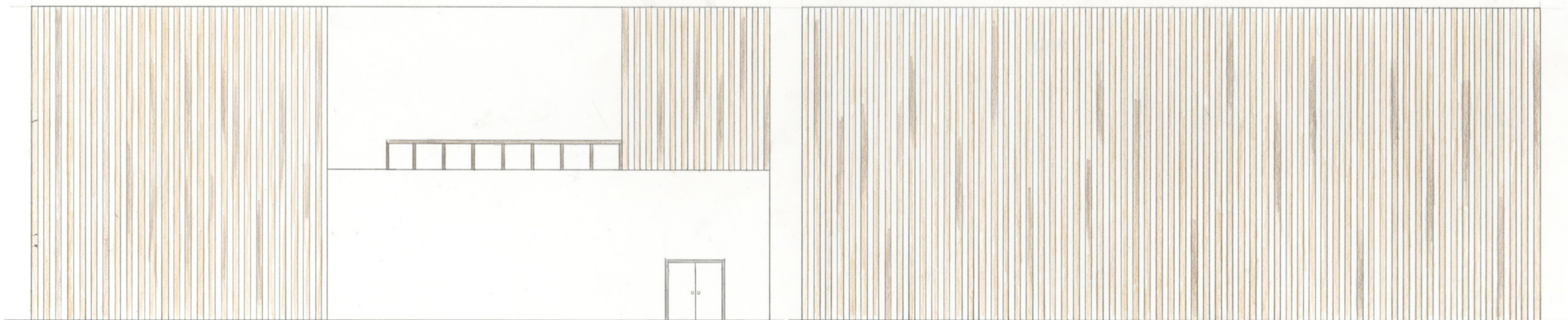




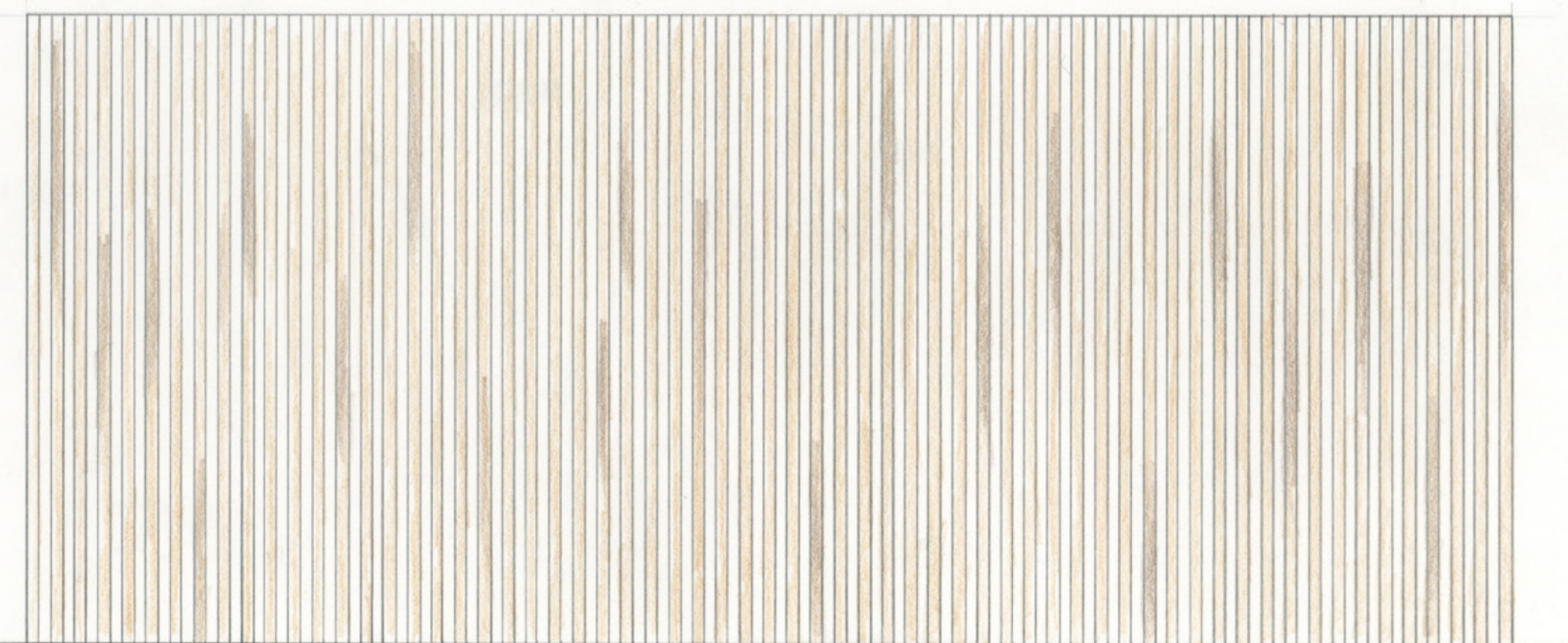
北立面图 (S=100)



南立面图 (S=100)

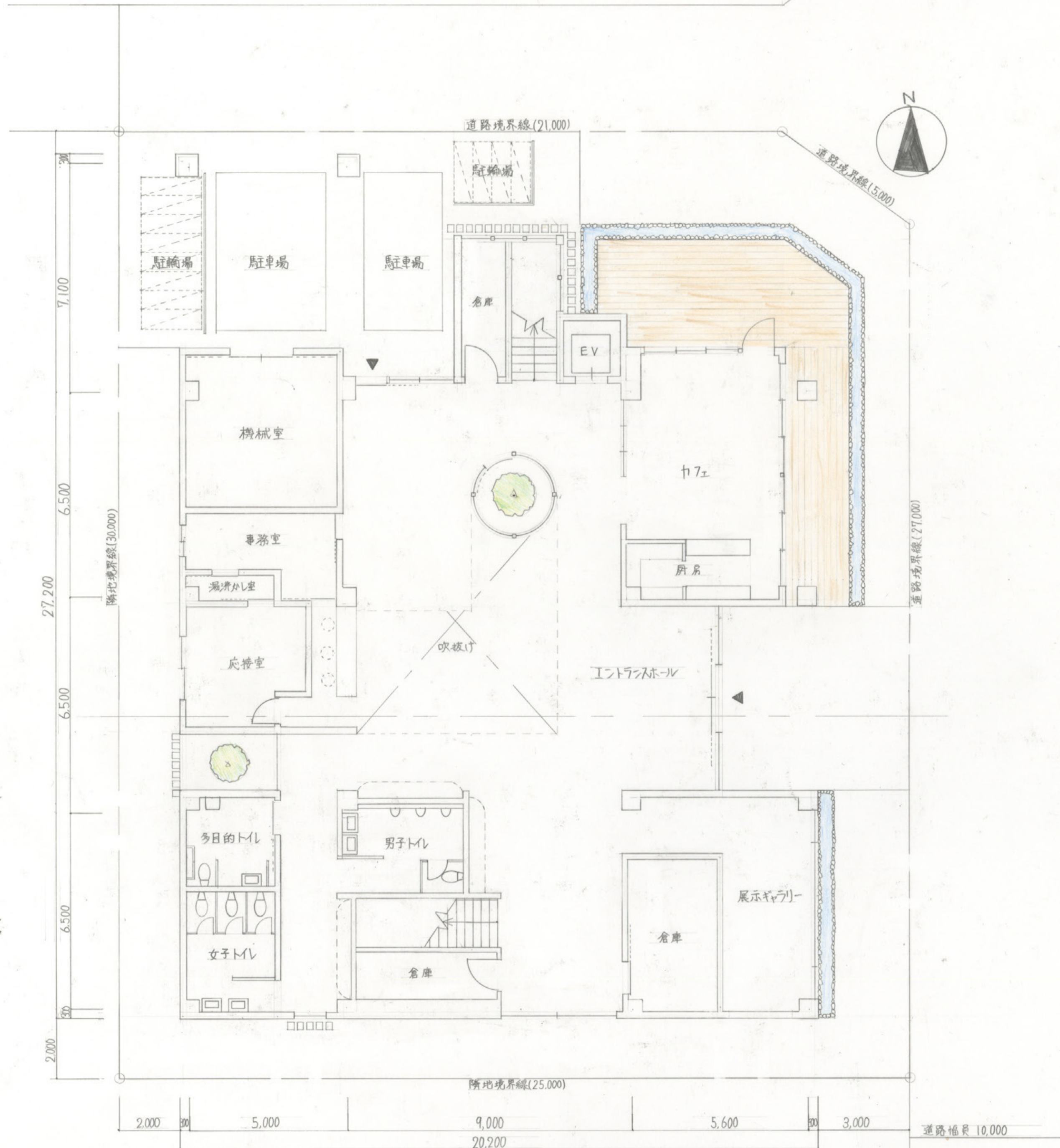


東立面图 (S=100)



西立面图 (S=100)

和の輪



面積表

敷地面積	744㎡
建築面積	405.2㎡
1階床面積	405.2㎡
2階床面積	413.4㎡
延床面積	818.6㎡

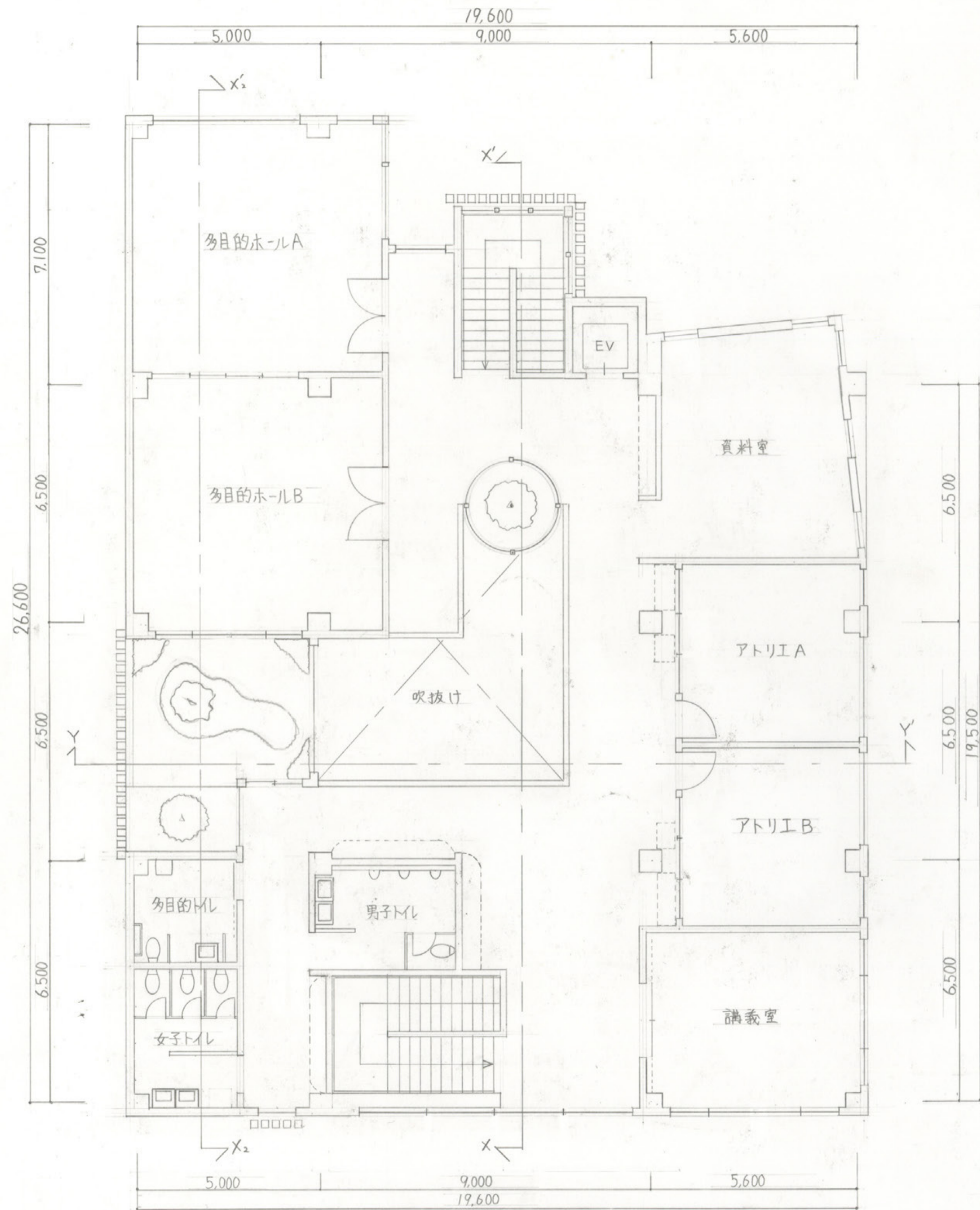
コンセプト

この施設では奈良県伝統的工芸品指定規定とされている奈良団扇について学習・体験を楽しく、気軽に体験できるように設計した。観光客から地元の人に入りたい・入りやすいようにカフェや体験入りを道路側に設計し内と外の様子をどちらからも感じられるようにガラス張りにした。また、アトリエや多目的ホールなど長時間使用するスペースの前に休憩時に癒しをもたらすために中庭を設計した。この中庭は1階から2階に繋がっているため、人が自然と2階に上がりたいと思わせる効果もある。

仕上表

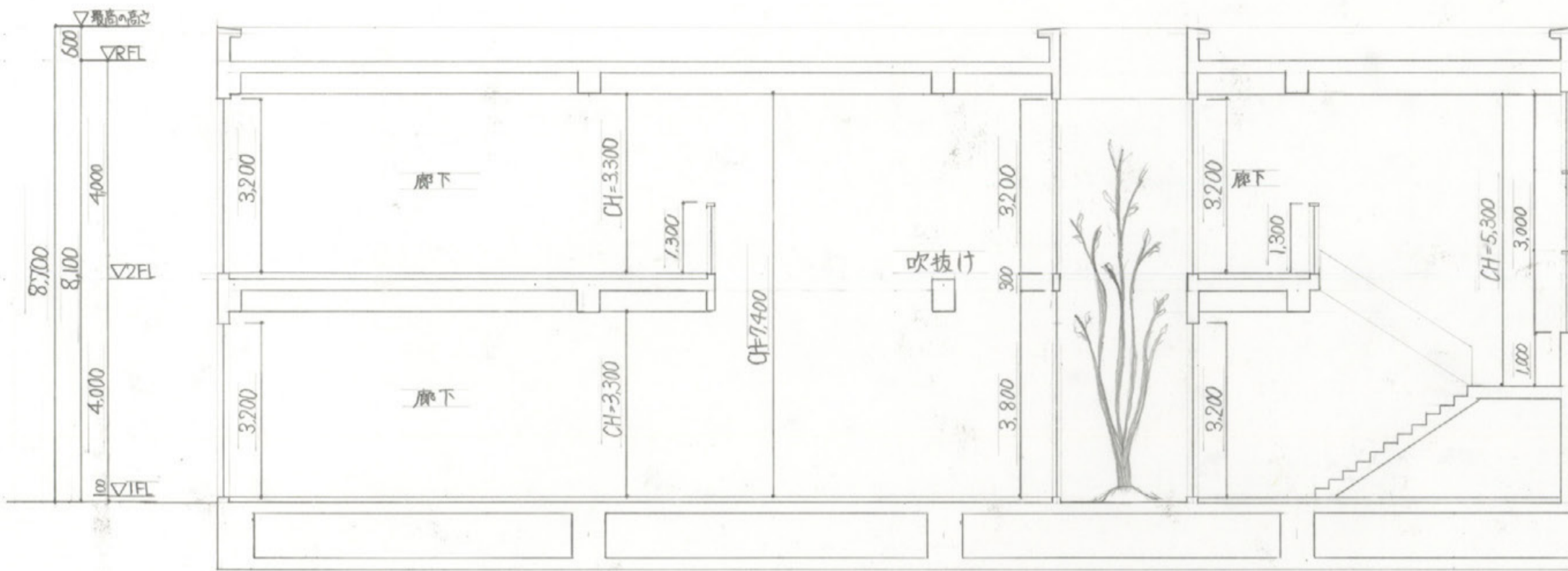
外部	壁	漆喰(白)
	屋根	アスファルト防水
	開口部	アルミサッシ
	カフェ	壁: 漆喰(黒) 床: セラミックタイル 天井: ウィンスタッドンター
	展示ギャラリー	壁: 漆喰(白) 床: タイルカーペット(黒) 天井: EP塗装
	アトリエ	壁: 漆喰(白) 床: セラミックタイル相調 天井: EP塗装
	資料室	壁: 漆喰(白) 床: タイルカーペット(茶) 天井: EP塗装
	多目的ホール	壁: 漆喰(白) 床: 遮音フローリング 天井: EP塗装

1階平面図兼配置図 縮尺 1/100

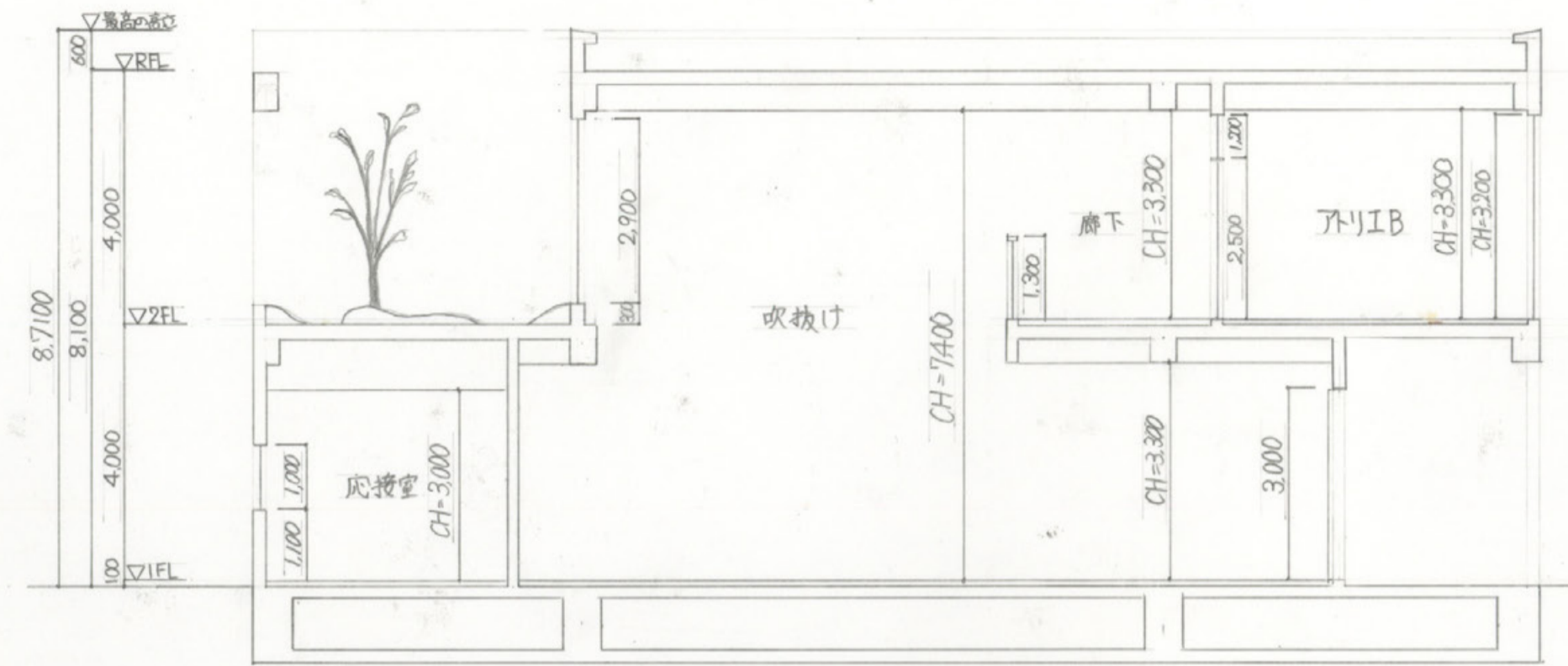


2階平面図 縮尺 1/100

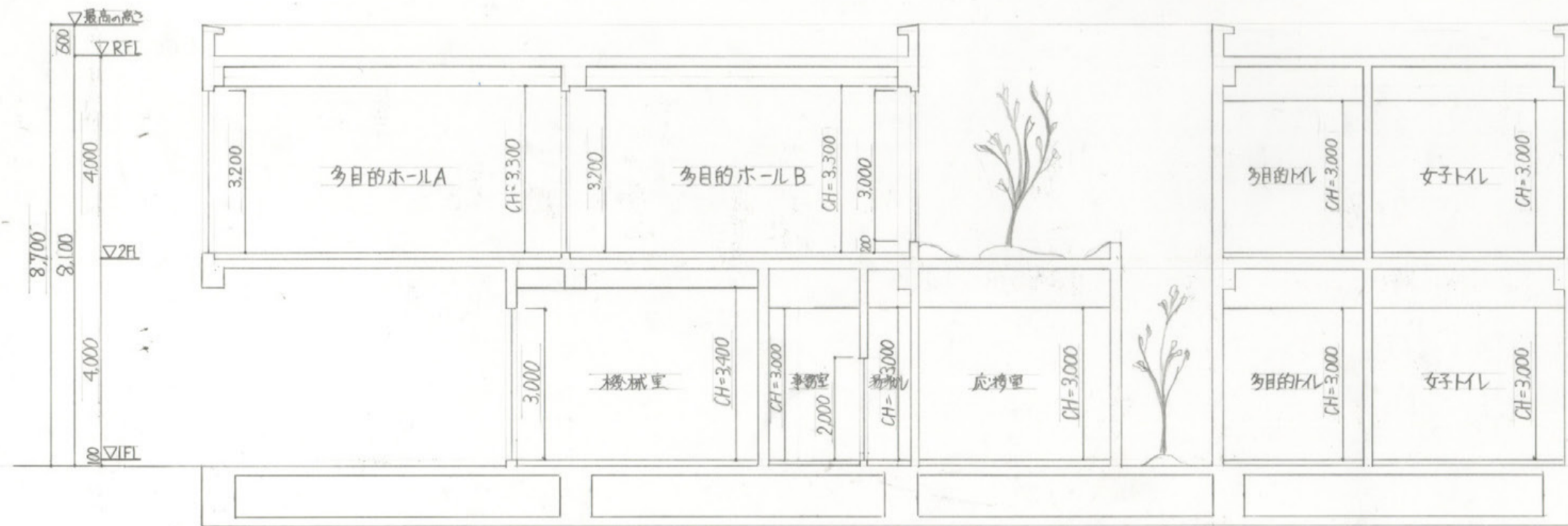




X-X' 断面図 縮尺 1/100



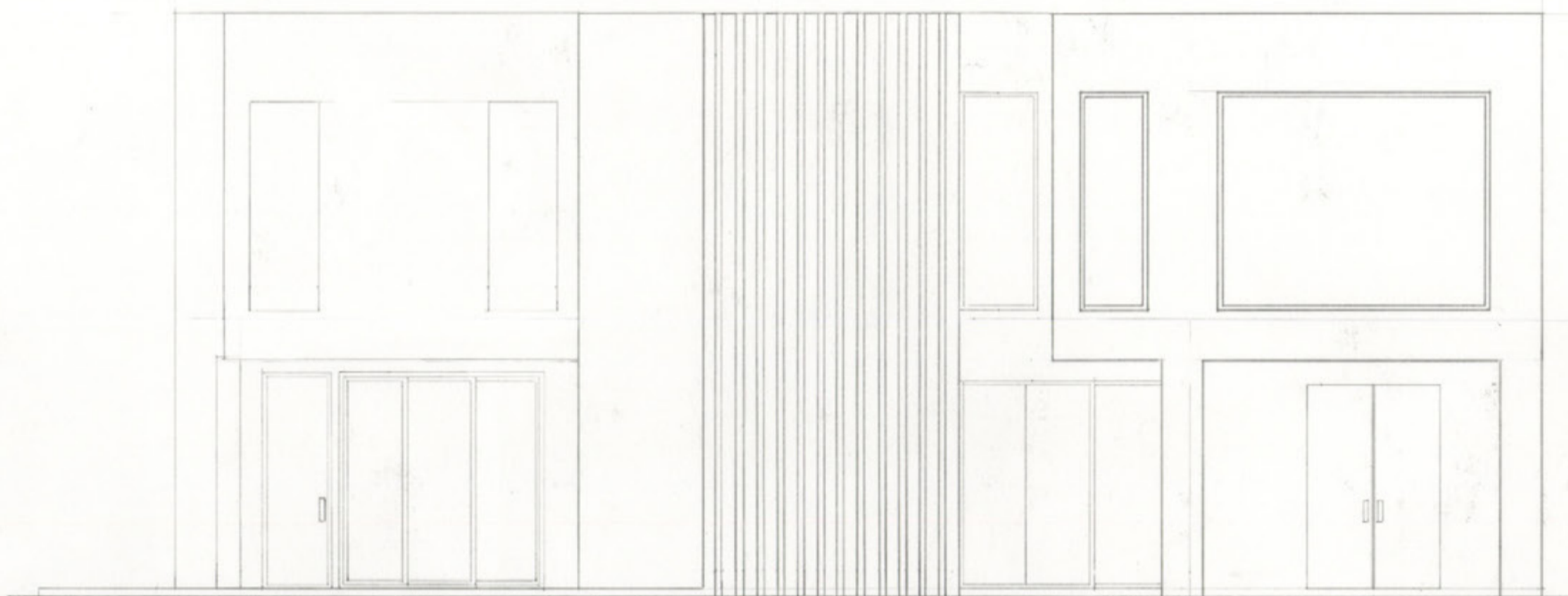
Y-Y' 断面図 縮尺 1/100



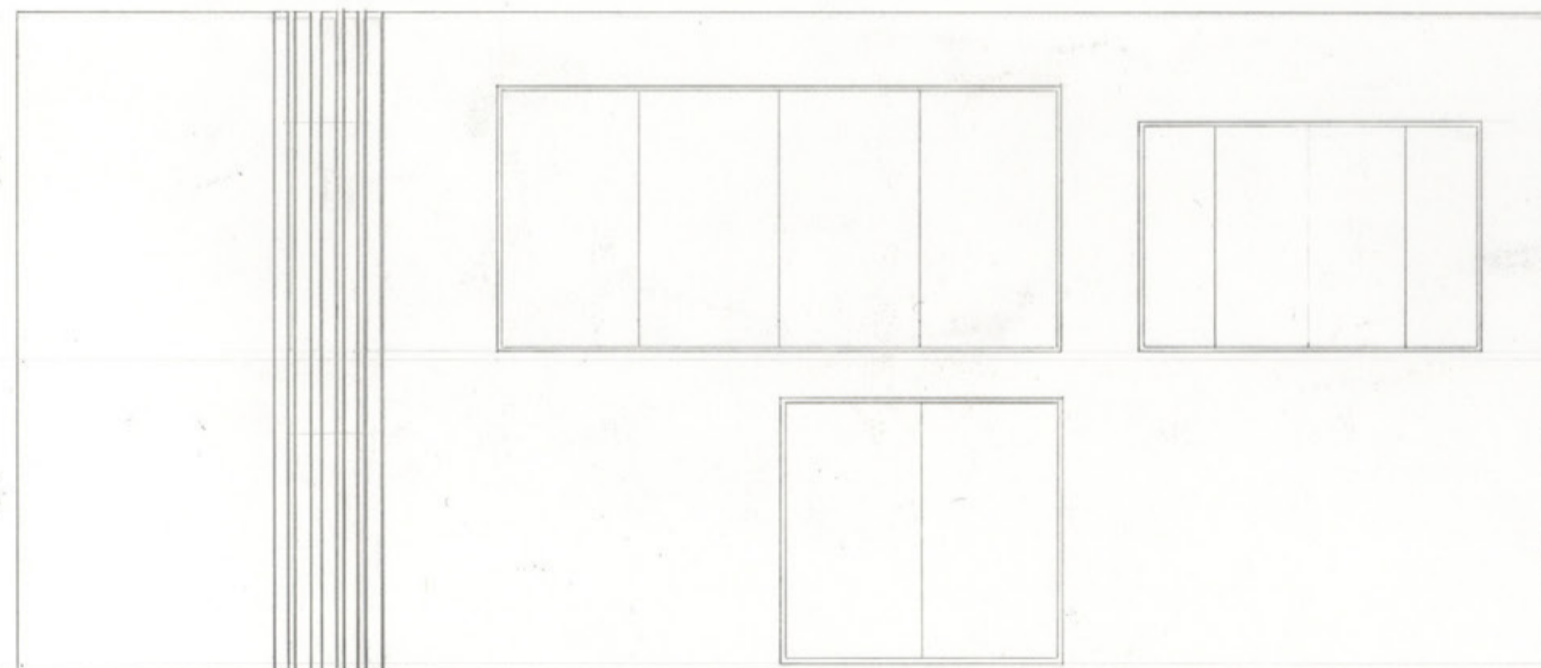
X2-X2' 断面図 縮尺 1/100



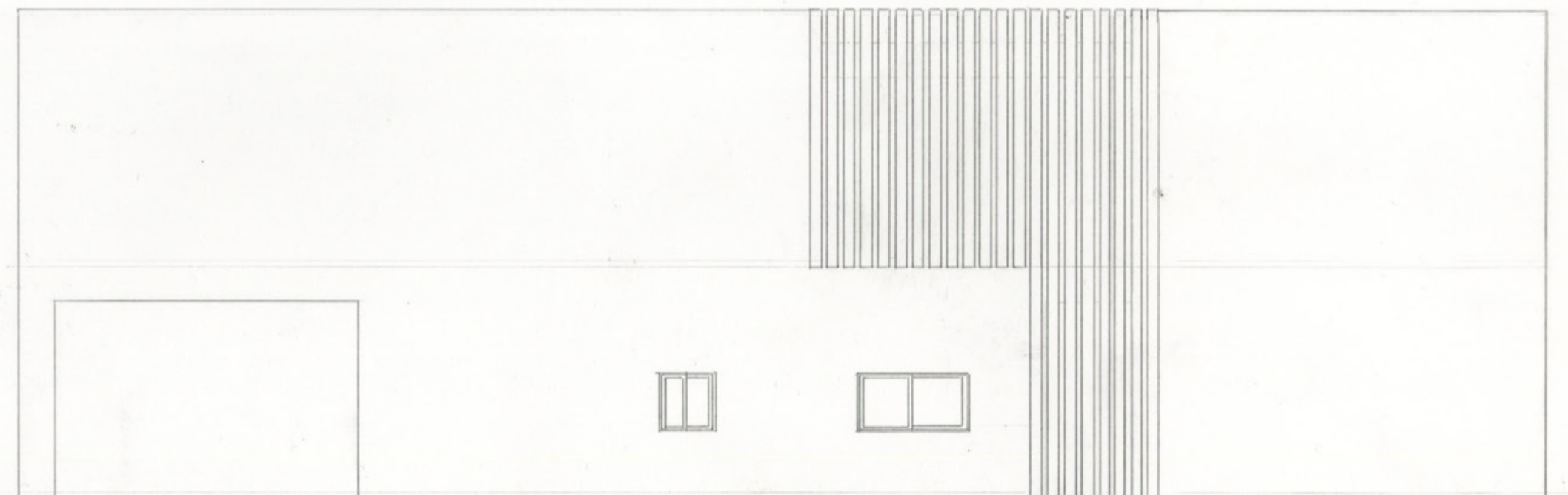
東側立面図 縮尺 1/100



北側立面図 縮尺 1/100

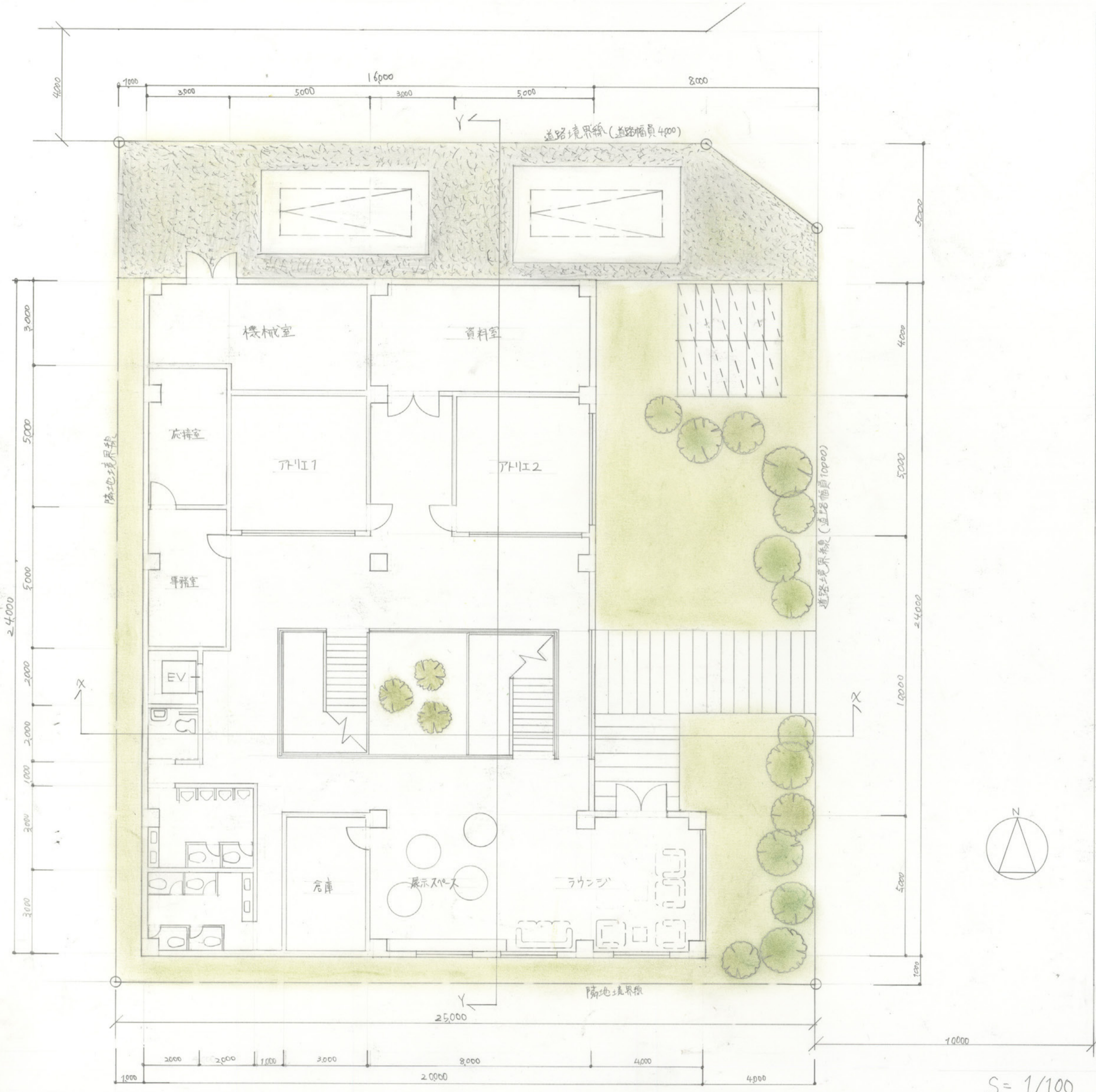
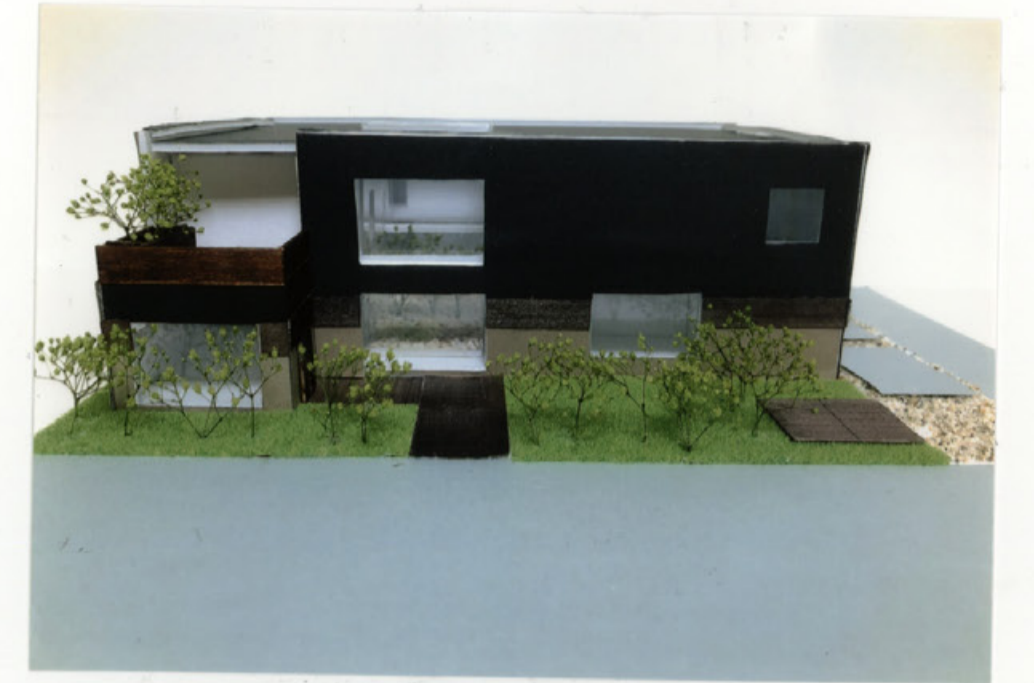


南側立面図 縮尺 1/100



西側立面図 縮尺 1/100

光と触れる温もり



1階平面図兼配置図

S = 1/100

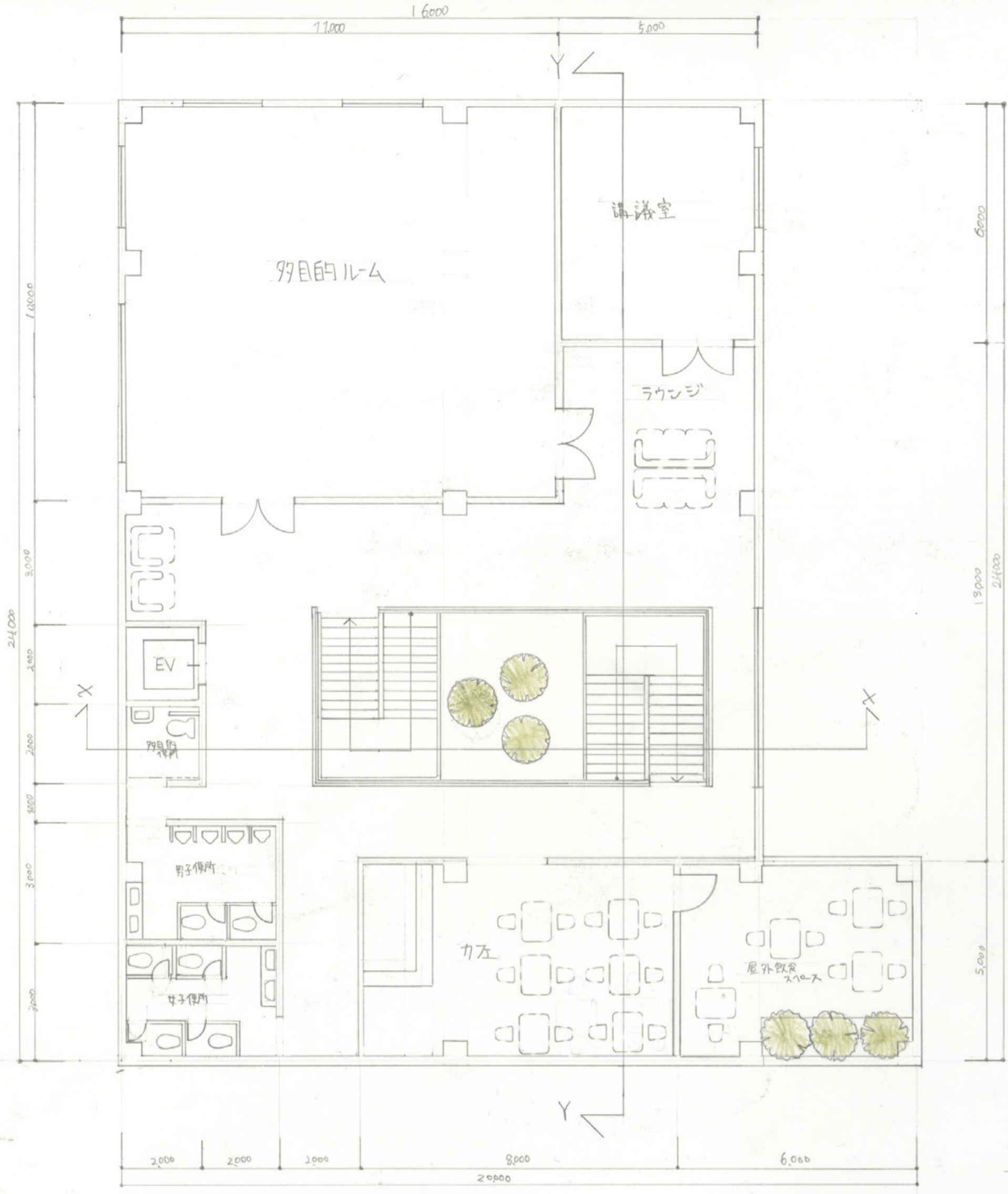
コンセプト
 見て触れ体験できる体験型複合施設がテーマで、アトリエをガラス張りにする事で体験学習する人には解放感を与えて外側にいる人には体験している人が見え、外からでも見て楽しむことができる。施設の床や階段や手すりなどに吉野杉を使い、触れて木の暖かさ、柔らかな木の匂いなどを感じることが出来る様にして、中庭の中に階段を設けて上り下りしている時でも自然を感じとれる様になっている。中庭から差し光と中庭の吉野杉でリラックスできる空間になる様になっている。

仕上表

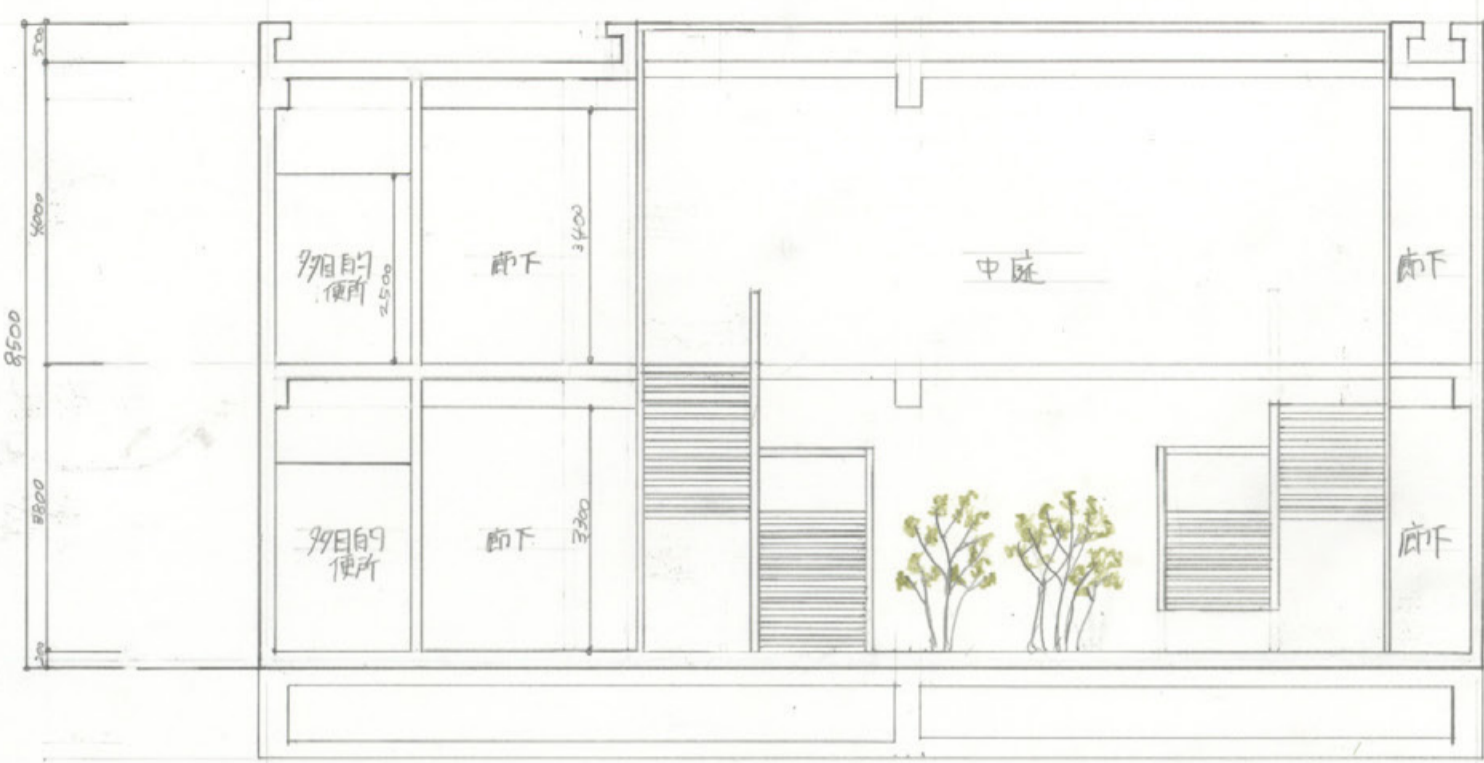
外部	壁	漆喰 / 吉野杉	
	床	吉野杉	
	屋根	塗膜防水	
内部	1階	壁	EP塗装
		床	吉野杉
	2階	天井	吉野杉
		床	吉野杉
	天井	吉野杉	

面積表

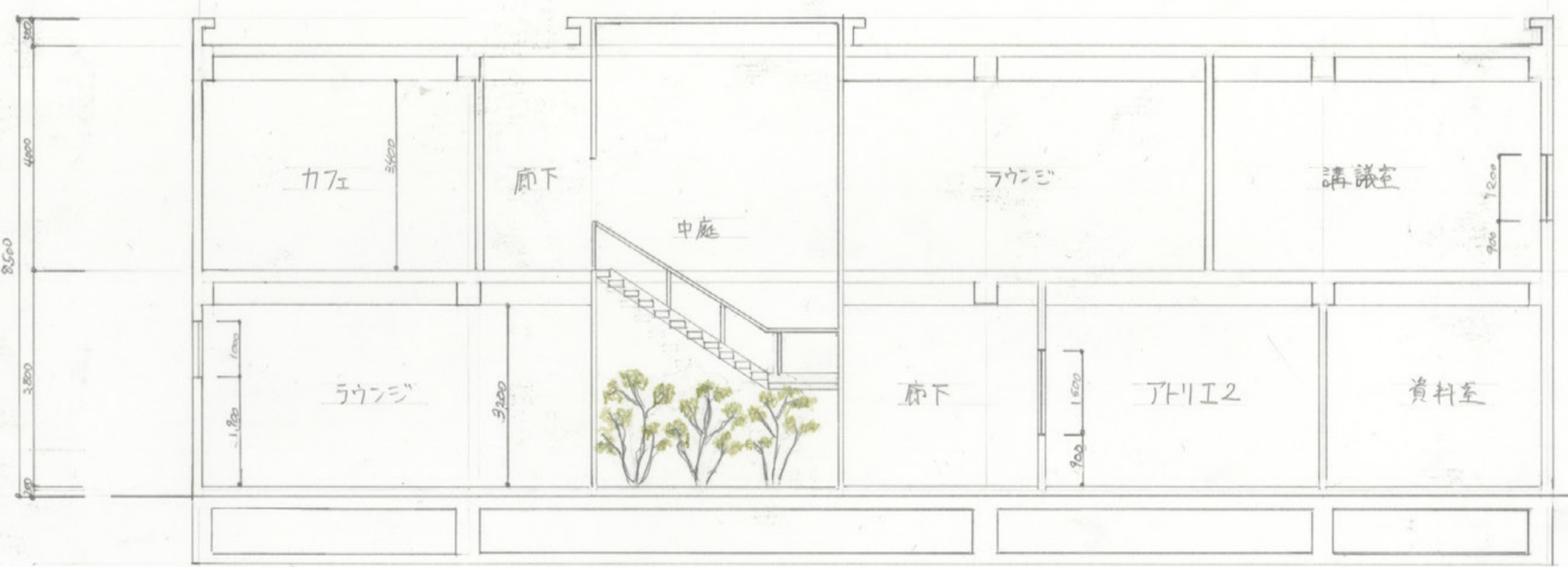
敷地面積	744 m ²	
建築面積	404 m ²	
床面積	1階	359.45 m ²
	2階	359.45 m ²
延べ面積	718.9 m ²	



2階平面図



X-X 断面図



Y-Y 断面図

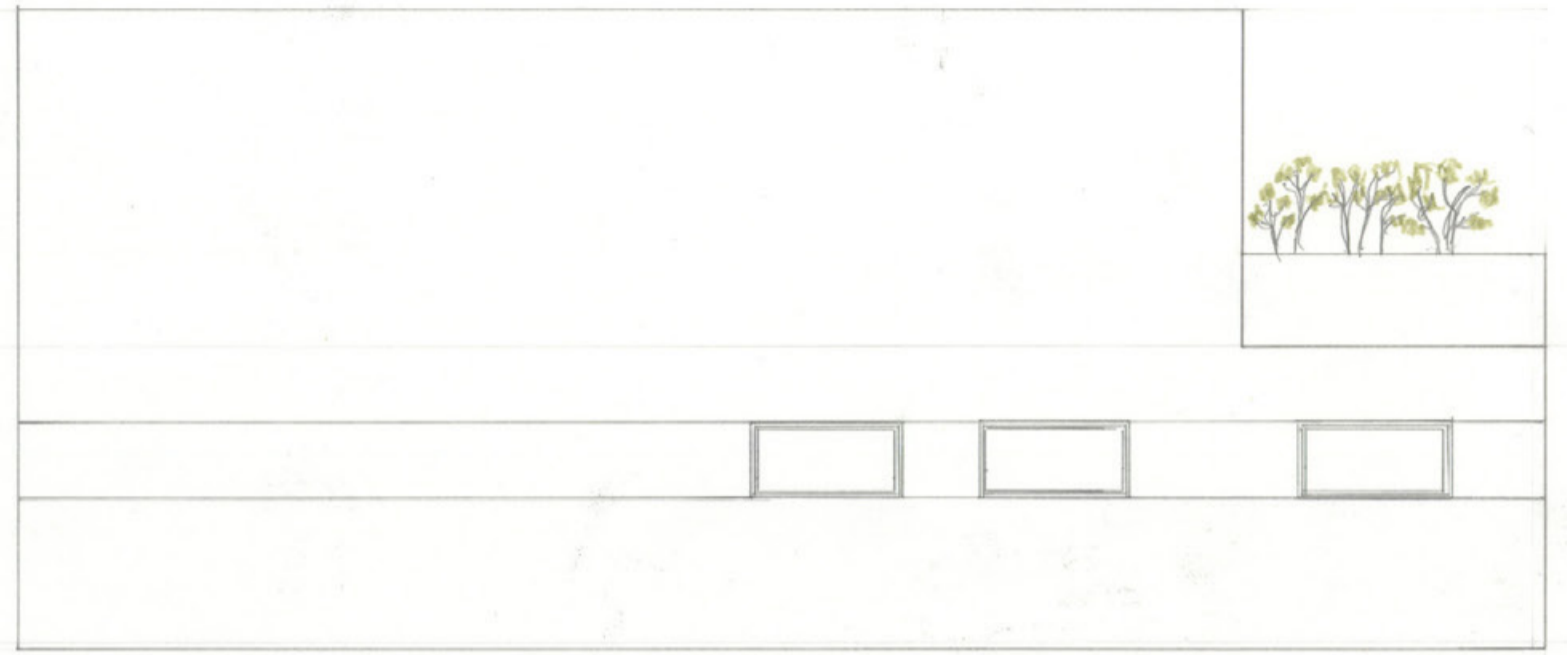


S = 1/100

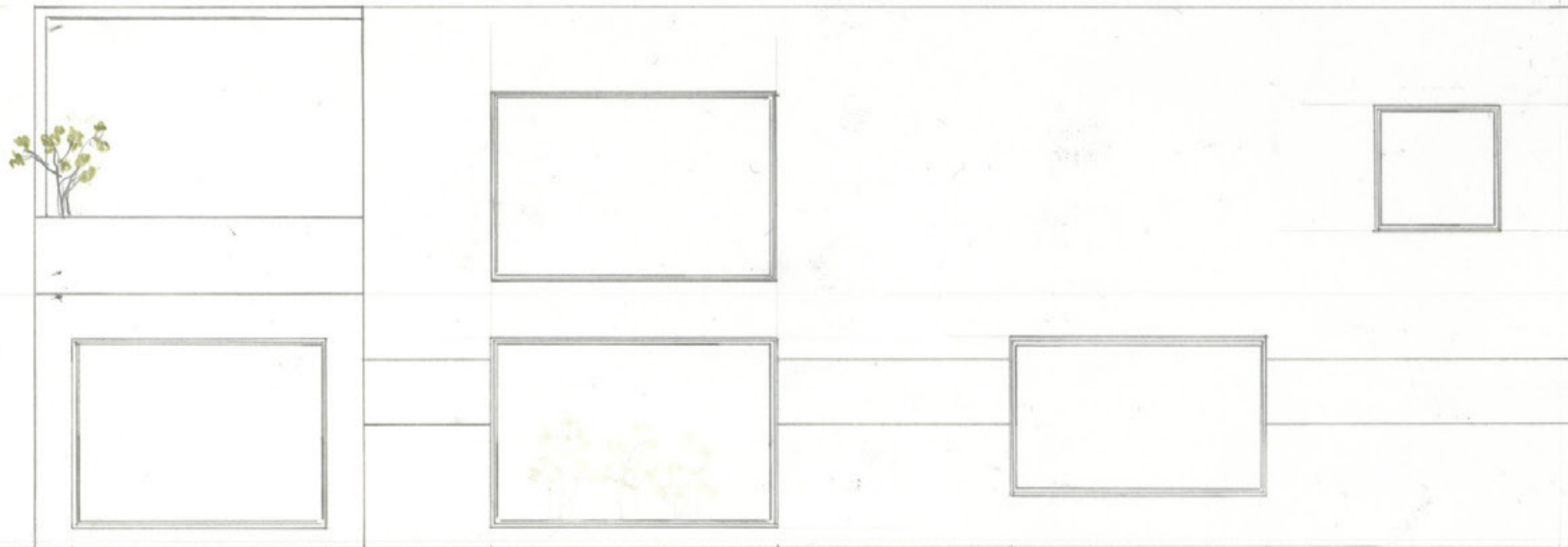
河島小粋 NO.2



西立面图



南立面图



東立面图



北立面图

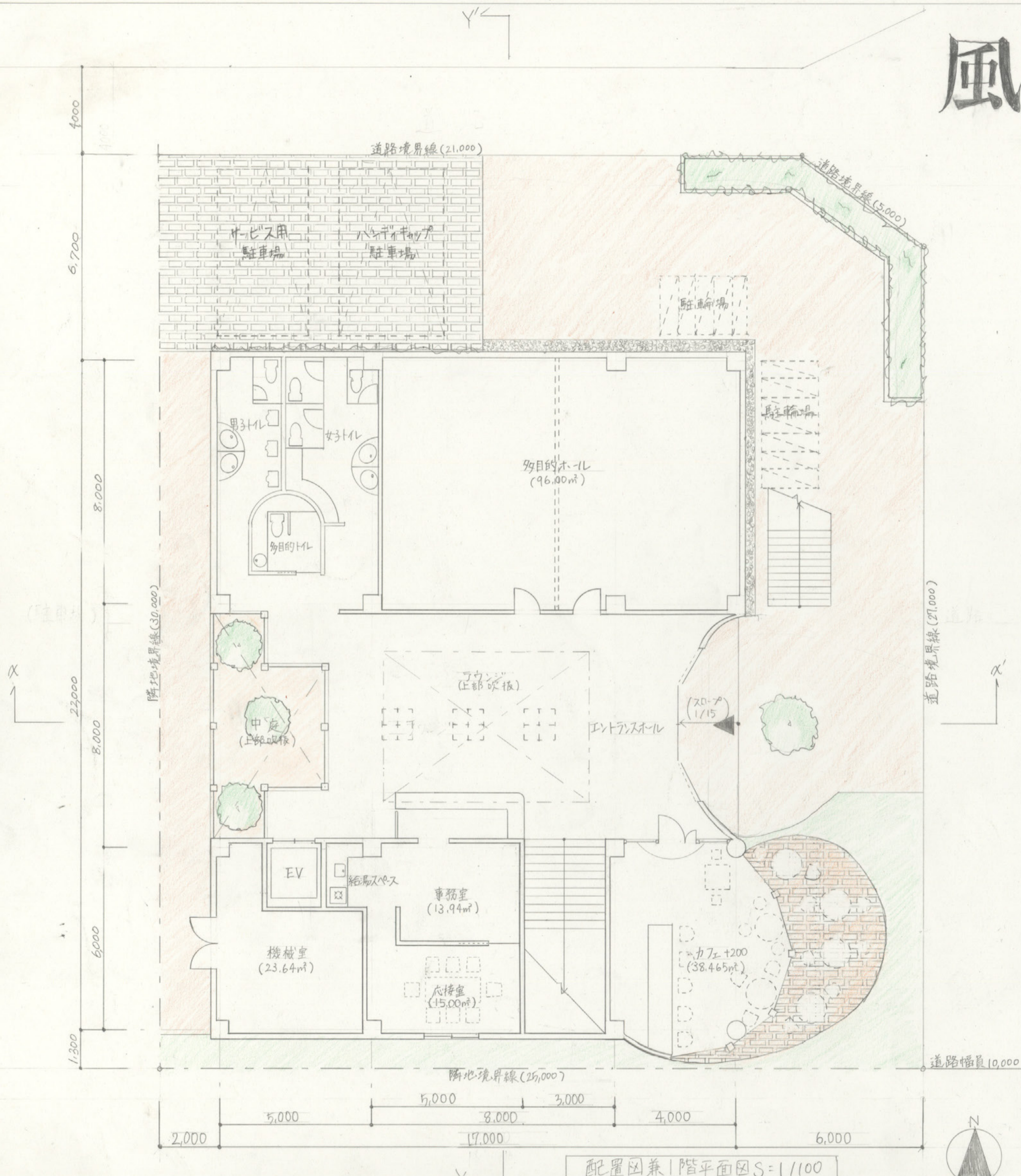
S = 1/100

河島小粋

N03

風光明媚

～文化学習複合施設～



設計主旨

＜イメージするコンセプトは「五感で知る奈良」です。＞
 入口から入ると広々としたエントランスホールは正面にある大きな中庭から光が入り、あたたかい空間を作りだしています。
 2階の展示ブースは時代を感じながら回ってほしい。資料室をオープンな空間にしたことで展示ブースから流れて入りやすくしています。
 行スでは奈良の町をながめられるスペースとして広く取りました。
 アトリは畳を使い、外国の方には、お母さんが和を感じながら赤膚焼体験をしてもらえるようにしました。
 外観では万葉集でも詠まれた奈良の吉野町が由来の若草というツルを巻き、窓やカフェ、入口の曲線は奈良文様が円形を基本にしていることが多く、やわらかな奈良のイメージを出すのに使いました。
 屋根の波は「時代の流れ」や「歴史の伝承」をイメージし、過去から現代、そして未来へつながれる施設であることを現しています。

仕上げ表			
外部仕上			
屋根	コンクリート金ゴケ押さえの上超速硬化ウレタン塗膜防水		
外壁	シラス壁ソフトヘアライン仕上り		
開口部	アルミサッシ		
内部仕上			
	床	壁	天井
エントランスホール	セラミックタイル	漆喰壁	不燃断熱材ゴケ押さえ
多目的ホール	セラミックタイル	コンクリート打ち直し	不燃断熱材ゴケ押さえ
カフェ	セラミックタイル	漆喰壁	不燃断熱材ゴケ押さえ
アトリ	畳	漆喰壁	不燃断熱材ゴケ押さえ

面積表	
敷地面積	844.00㎡
建築面積	349.00㎡
1F	349.00㎡
2F	230.00㎡
3F	199.00㎡
延べ床面積	778.00㎡

配置図兼1階平面図 S=1/100

風光明媚

帝塚山大学現代生活学部居住空間デザイン学科

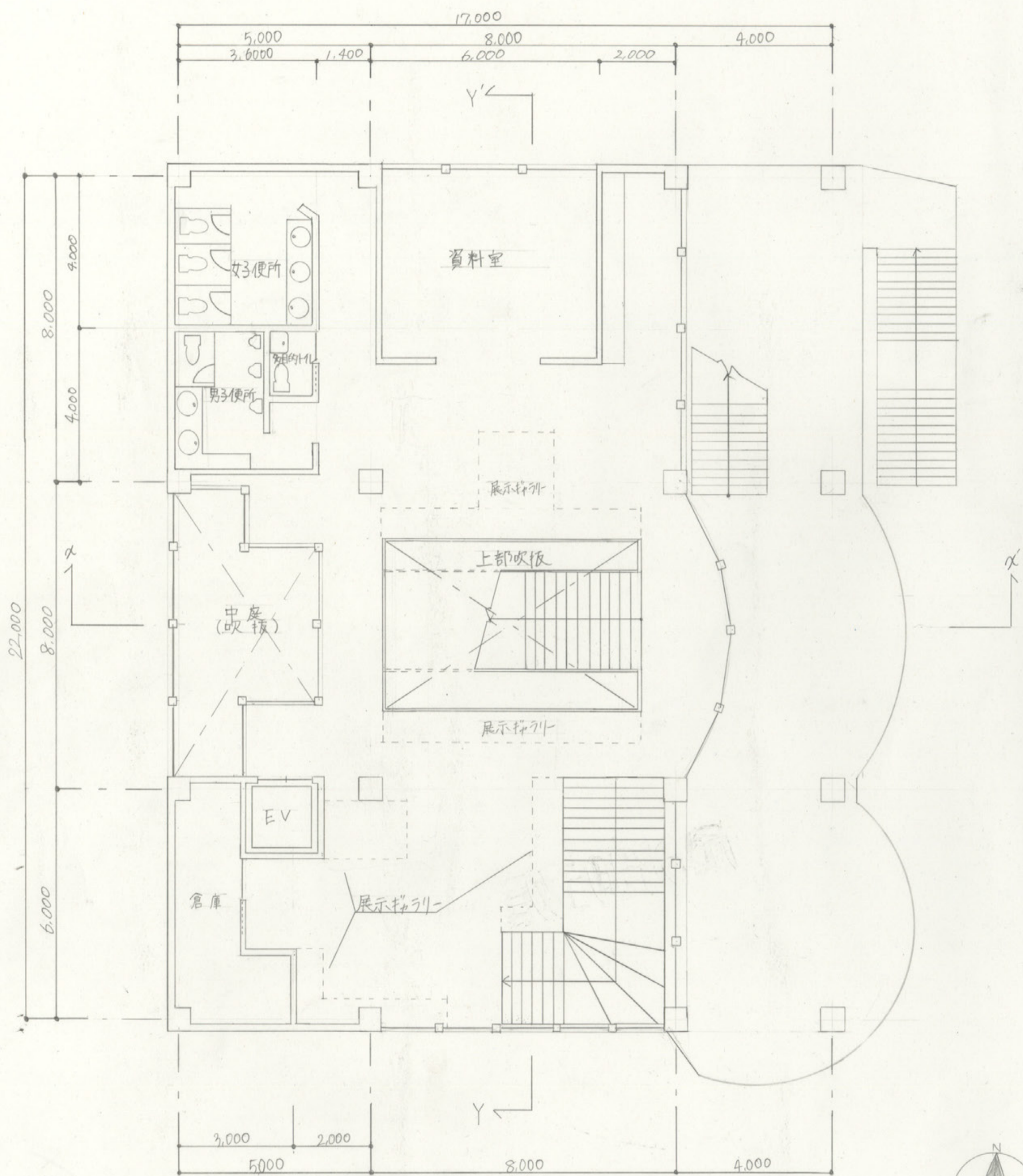
2020.07.10

田之上 桜子

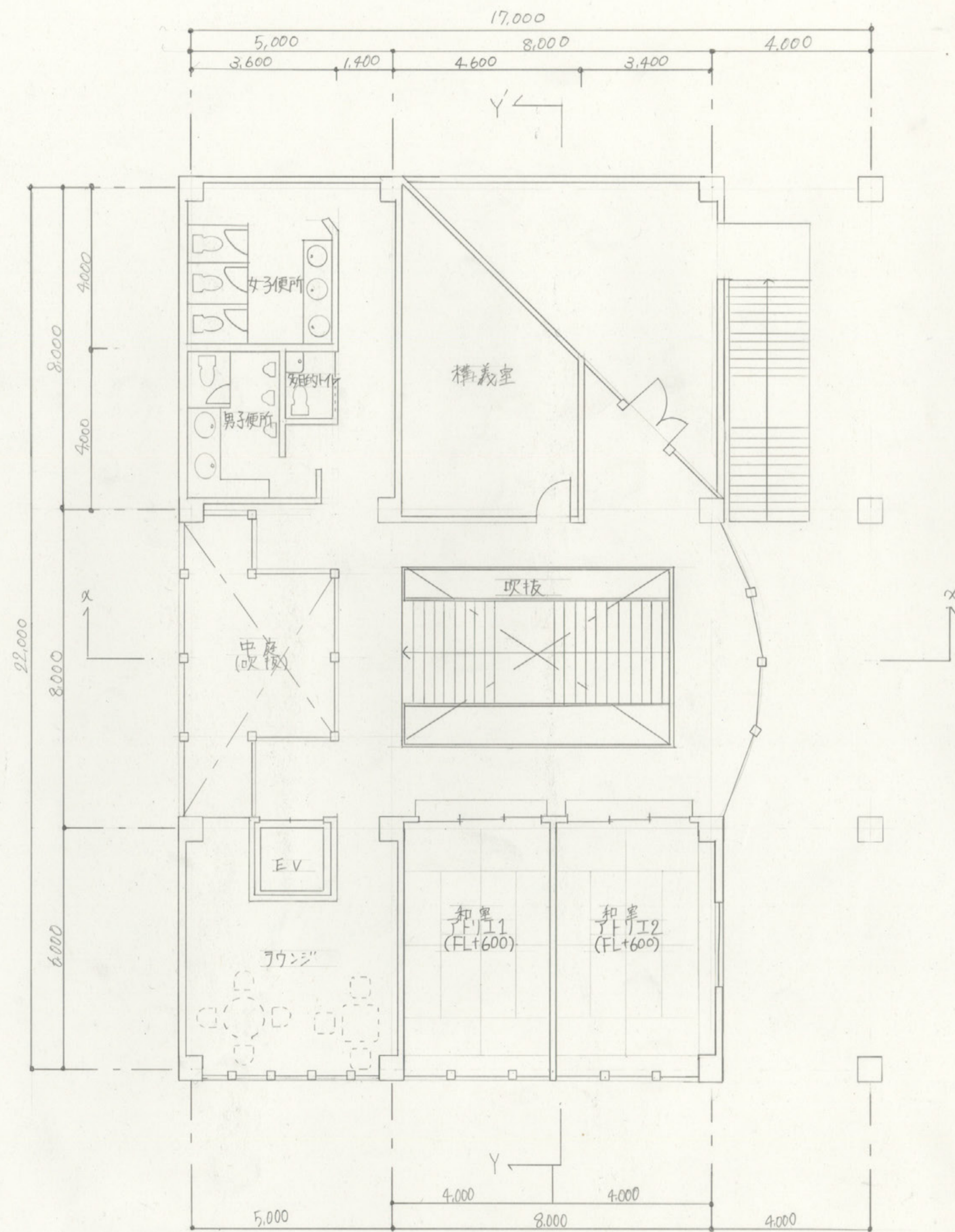
配置図・1階平面図

S=1/100

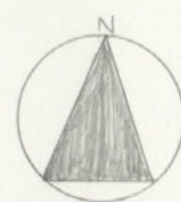
1/4

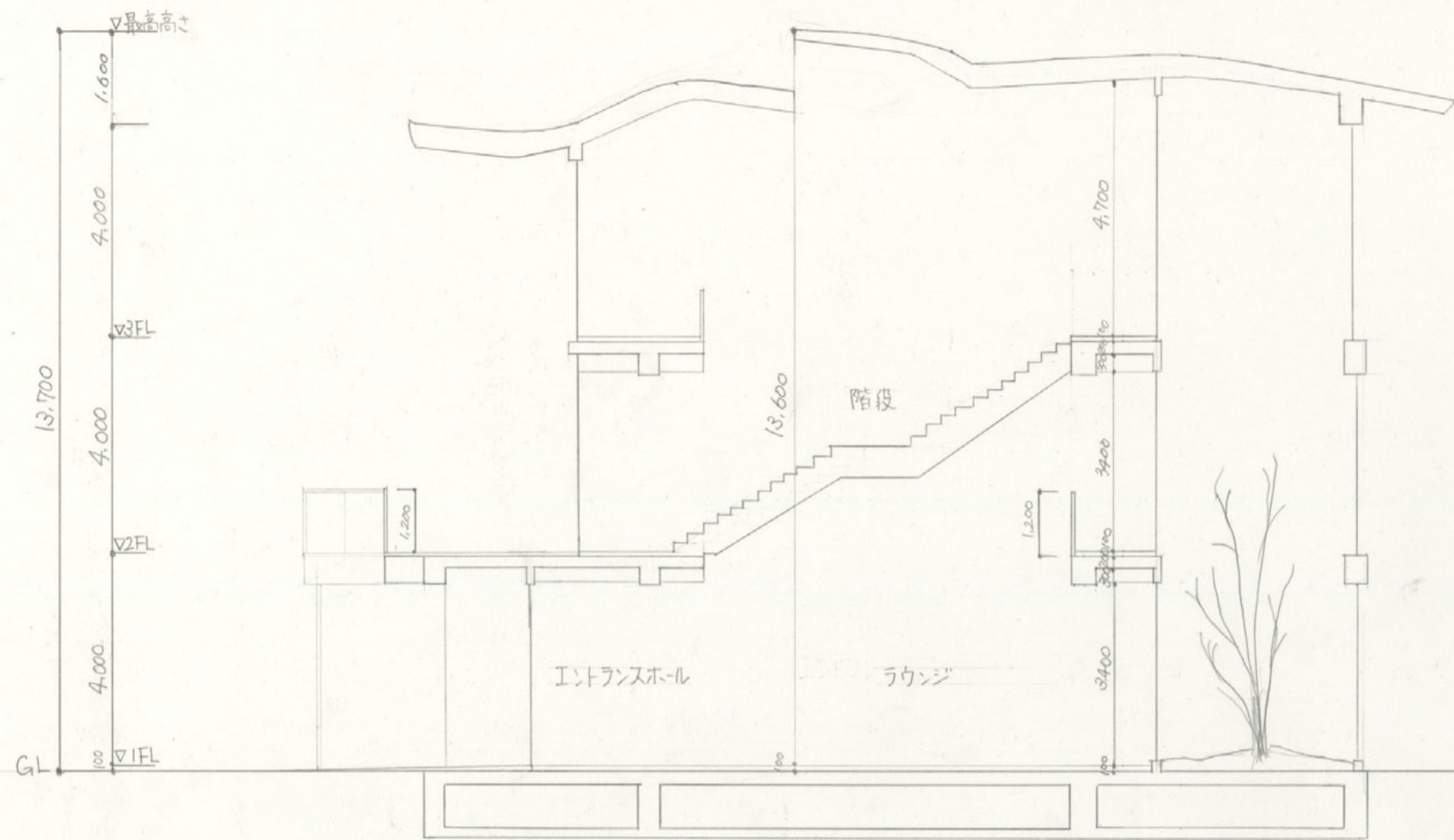


2階平面図 S=1/100

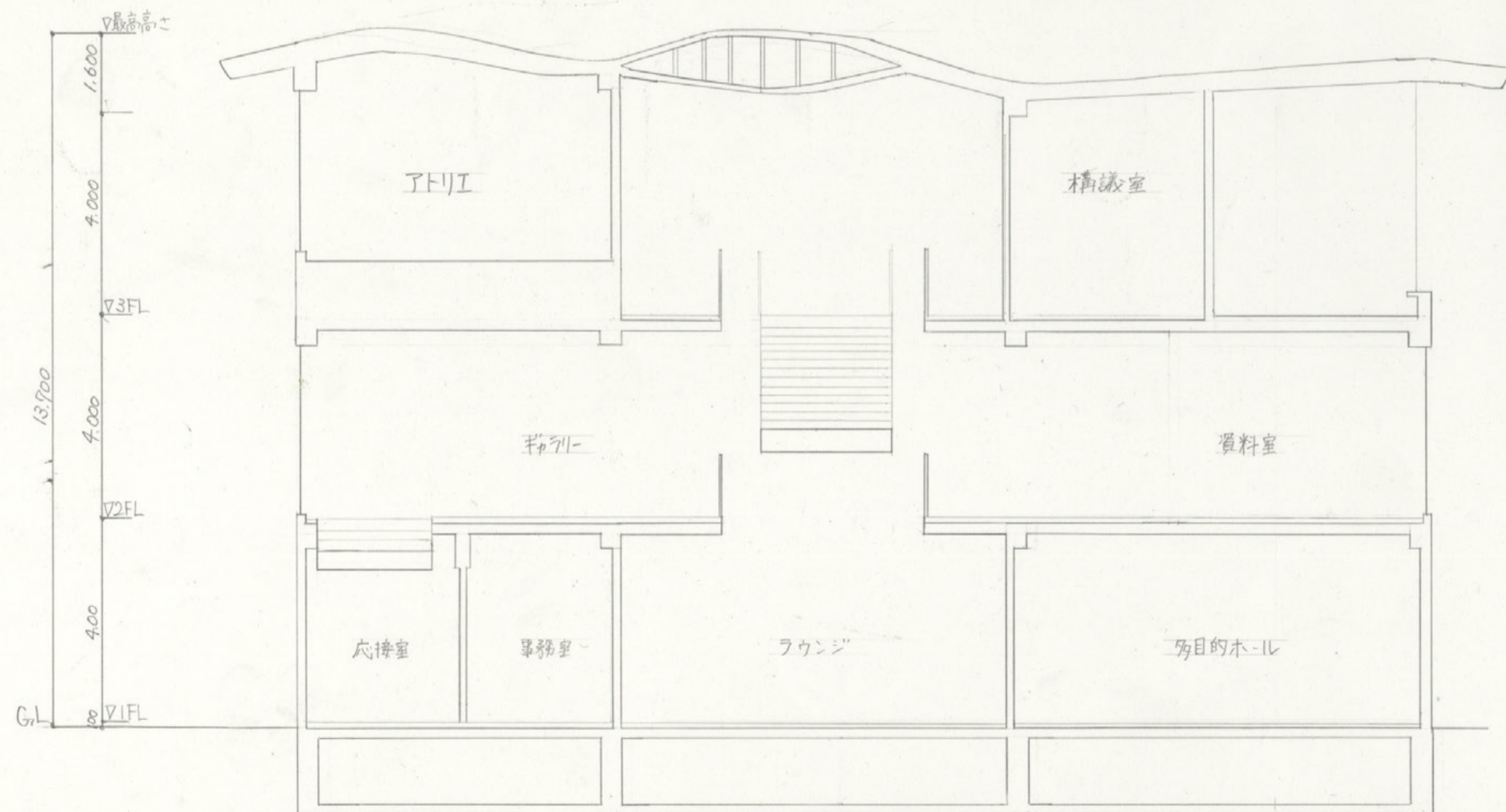


3階平面図 S=1/100

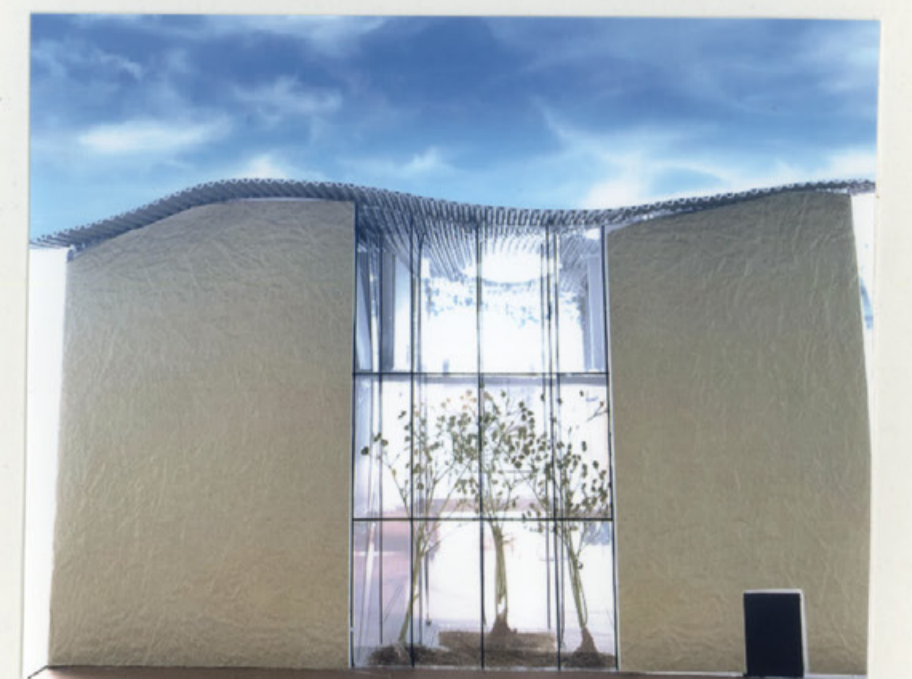




X-X' 断面図 S=1/100



Y-Y' 断面図 S=1/100

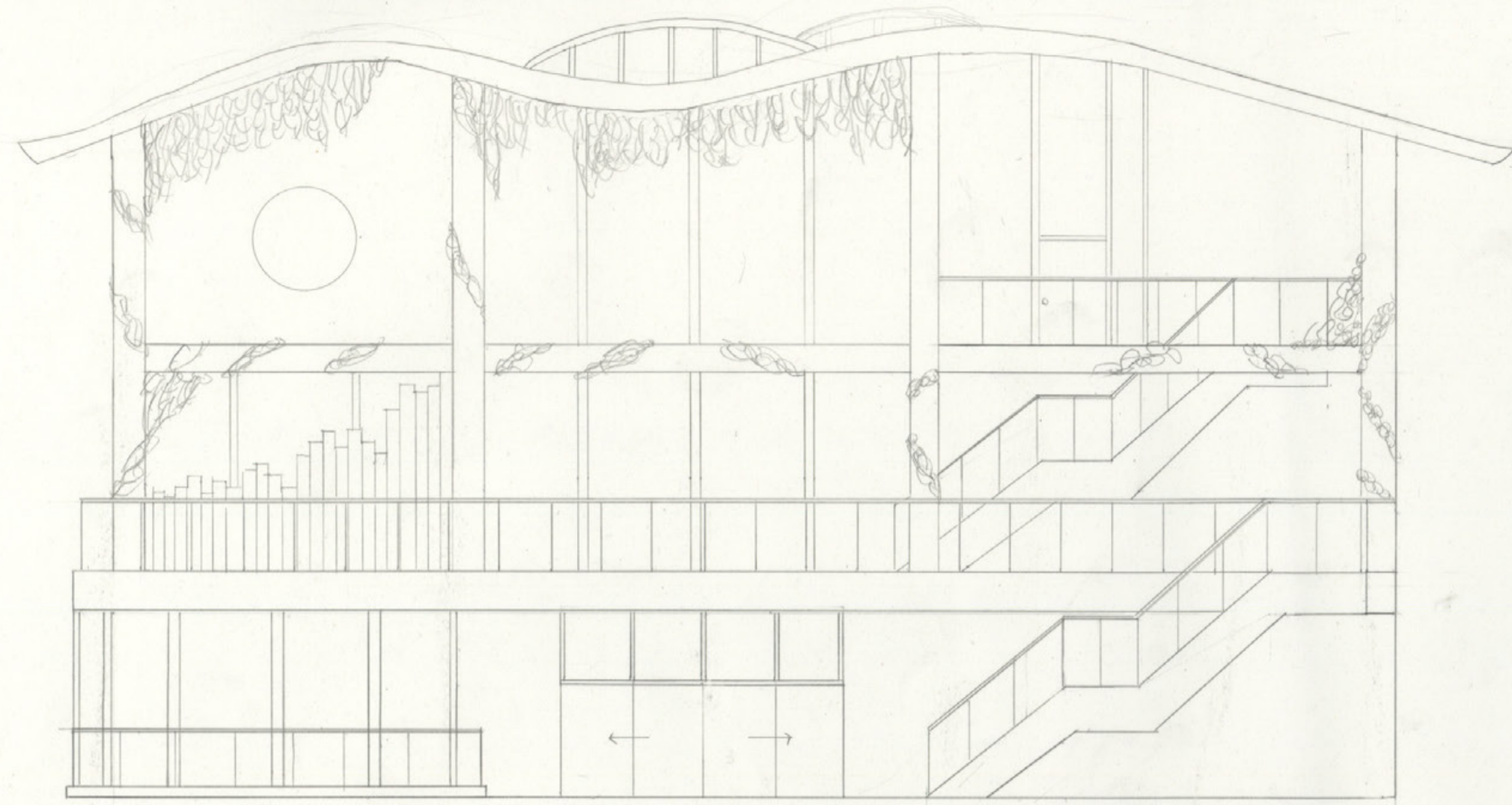


風光明媚

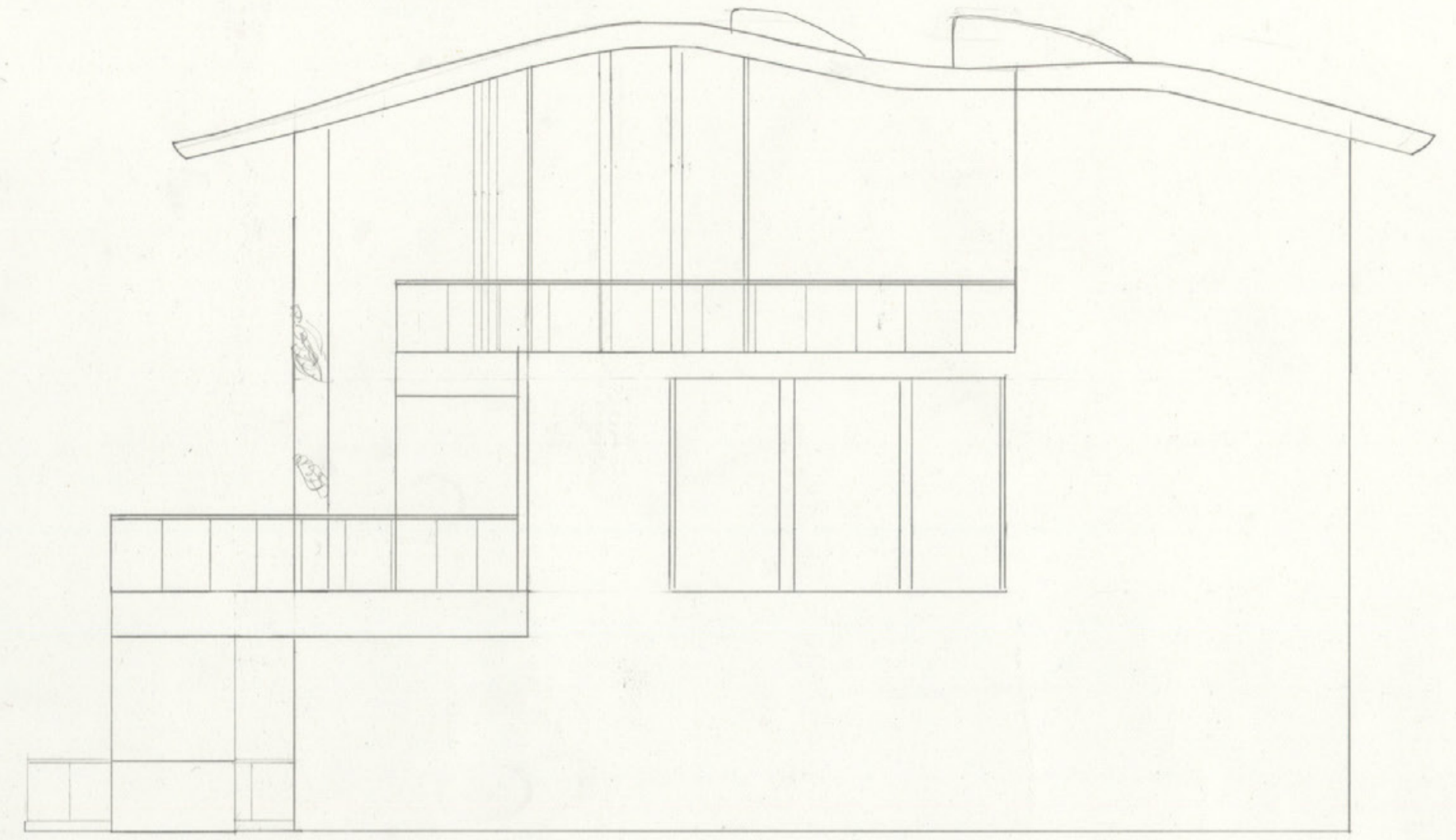
燕塚山大学現代生活学部居住空間デザイン学科
田之上 桜子

風光明媚
断面図

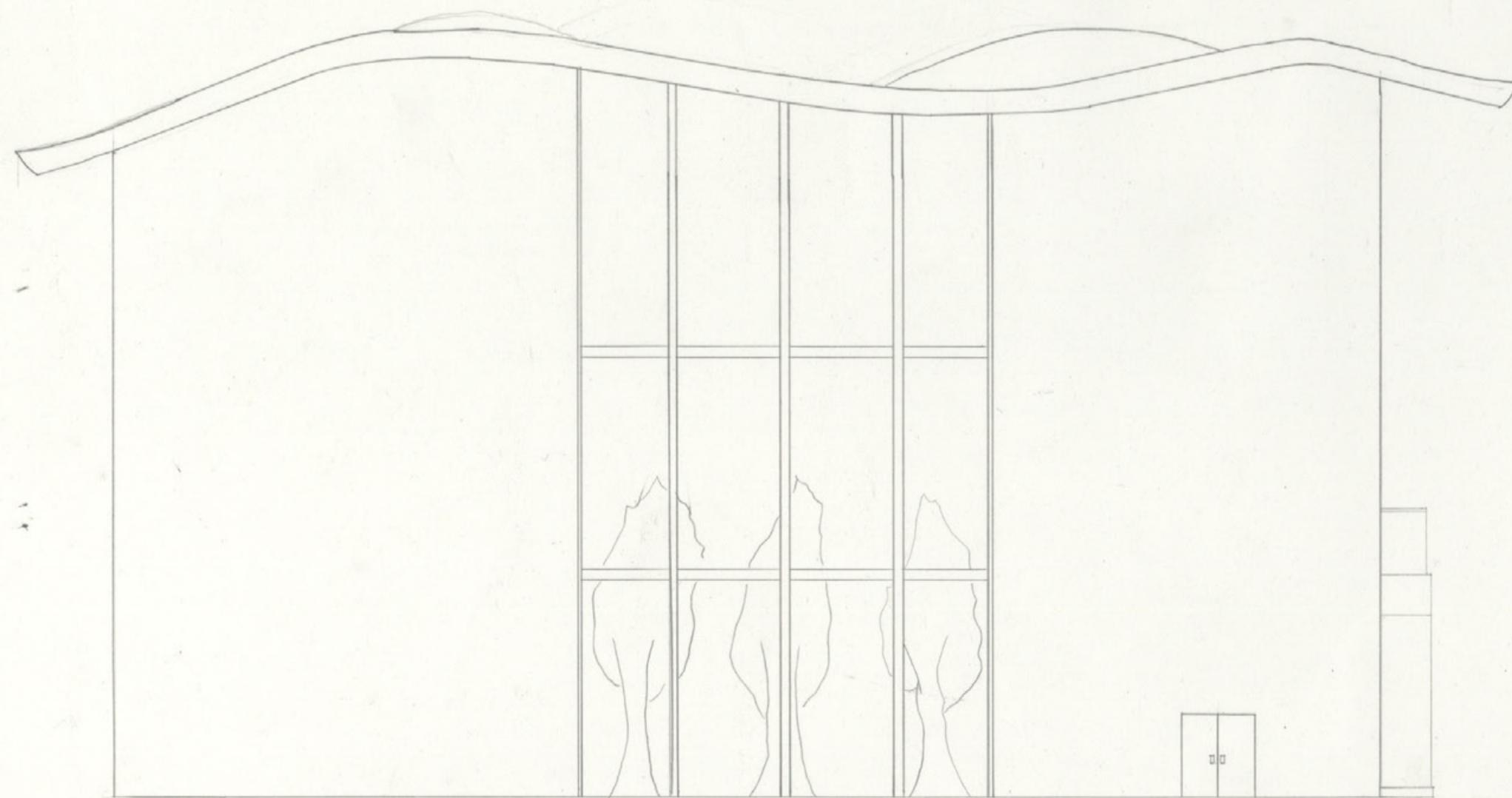
2020.07.10
S=1/100



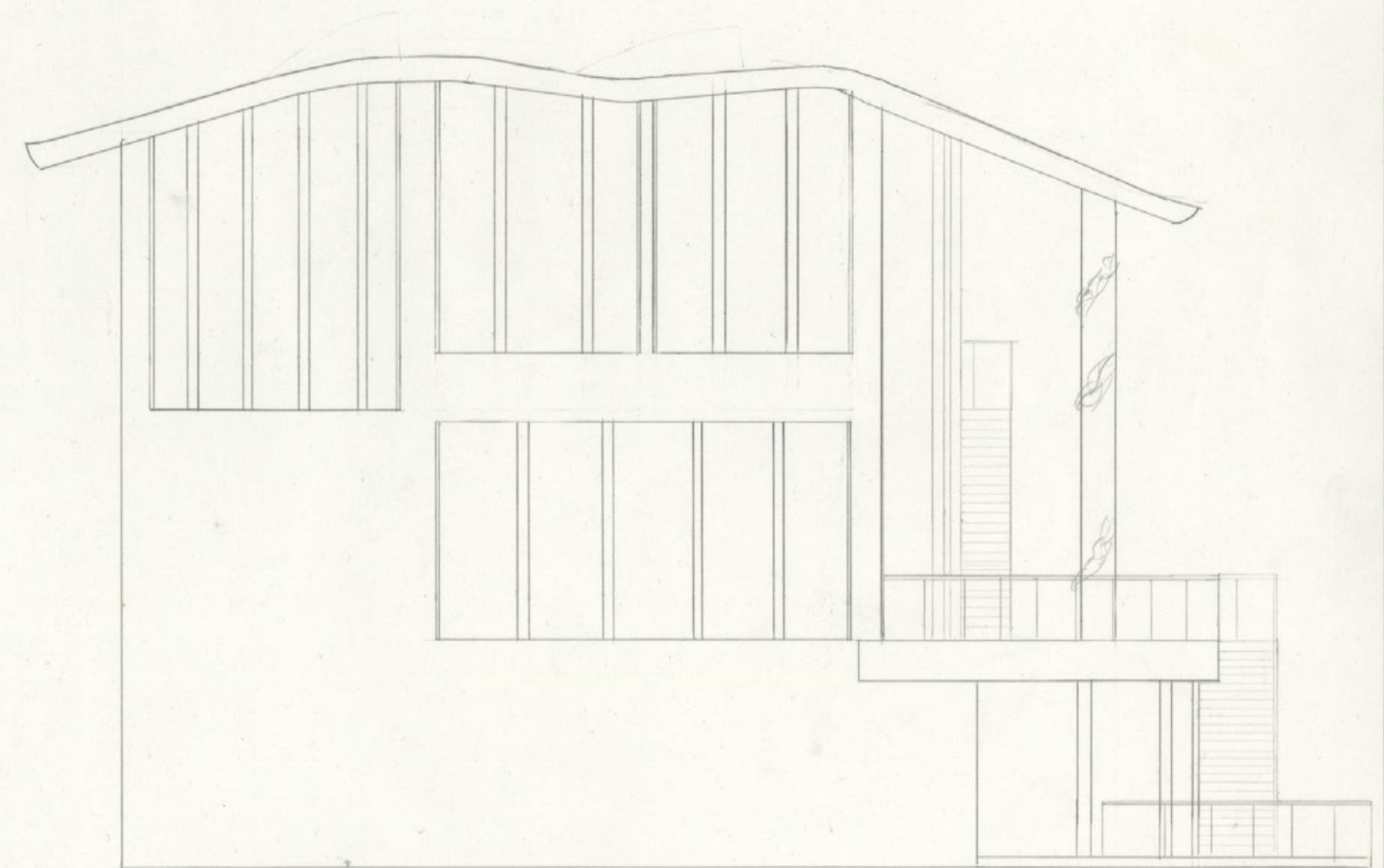
東立面图 S=1/100



北立面图 S=1/100



西立面图 S=1/100



南立面图 S=1/100

風光明媚

帝塚山大学現代生活学部居住空間デザイン学科

風光明媚

2020.07.10

4/4

田之上 桜子

立面图

S=1/100

公と広

コンセプト

吉野杉を用いたアトリエや工芸品、食器を作るワークショップが主たる施設を設計した。地域の人も観光客も、ワークショップはもちろん施設全体を通じて吉野杉を楽しむことを目的としている。エントランスを兼ねたラウンジには吹き抜けがあり、二階まで展示スペースにすることで大空間を作り出す。吹き抜けの空間からカフェやアトリエと一体化するように設計し、それぞれの活動に展開していく。一・二階のテラスと展示スペースを円弧状に配置することで、来客に提供するサービスの場として他の諸室と区分けする。

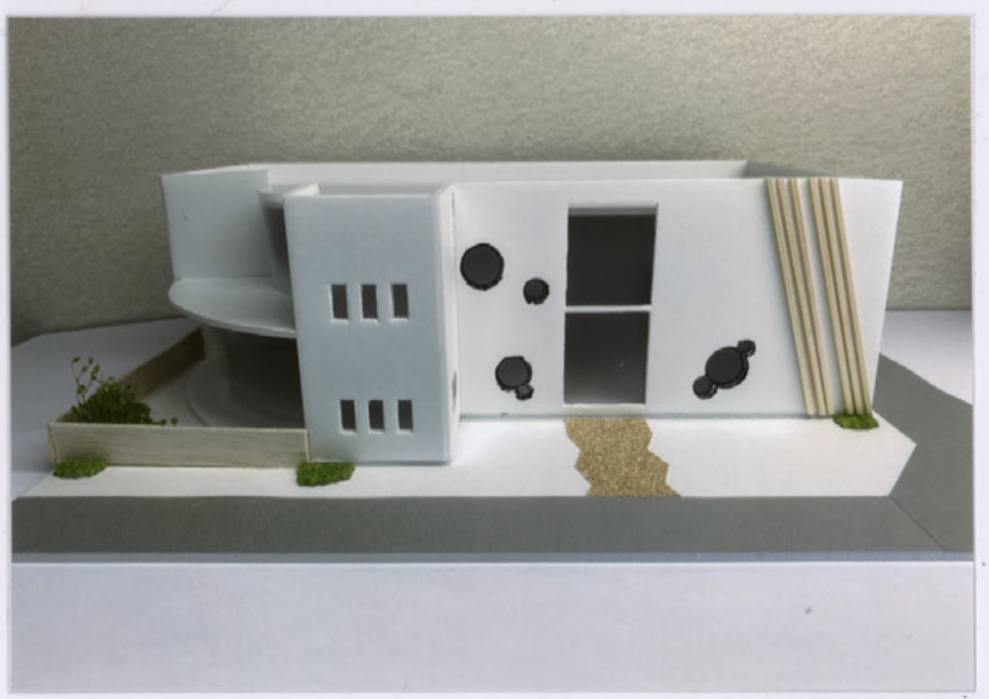
外観にも吉野杉が楽しめる要素として年輪をイメージした窓枠を用いたり、吉野杉の板材が杉林を模したパターンを外装に取り付けたりした。公共の施設が吉野杉による広がりにより様々な活動を行い活気づけ、奈良の文化がさらに発展していくきっかけになるようにした。

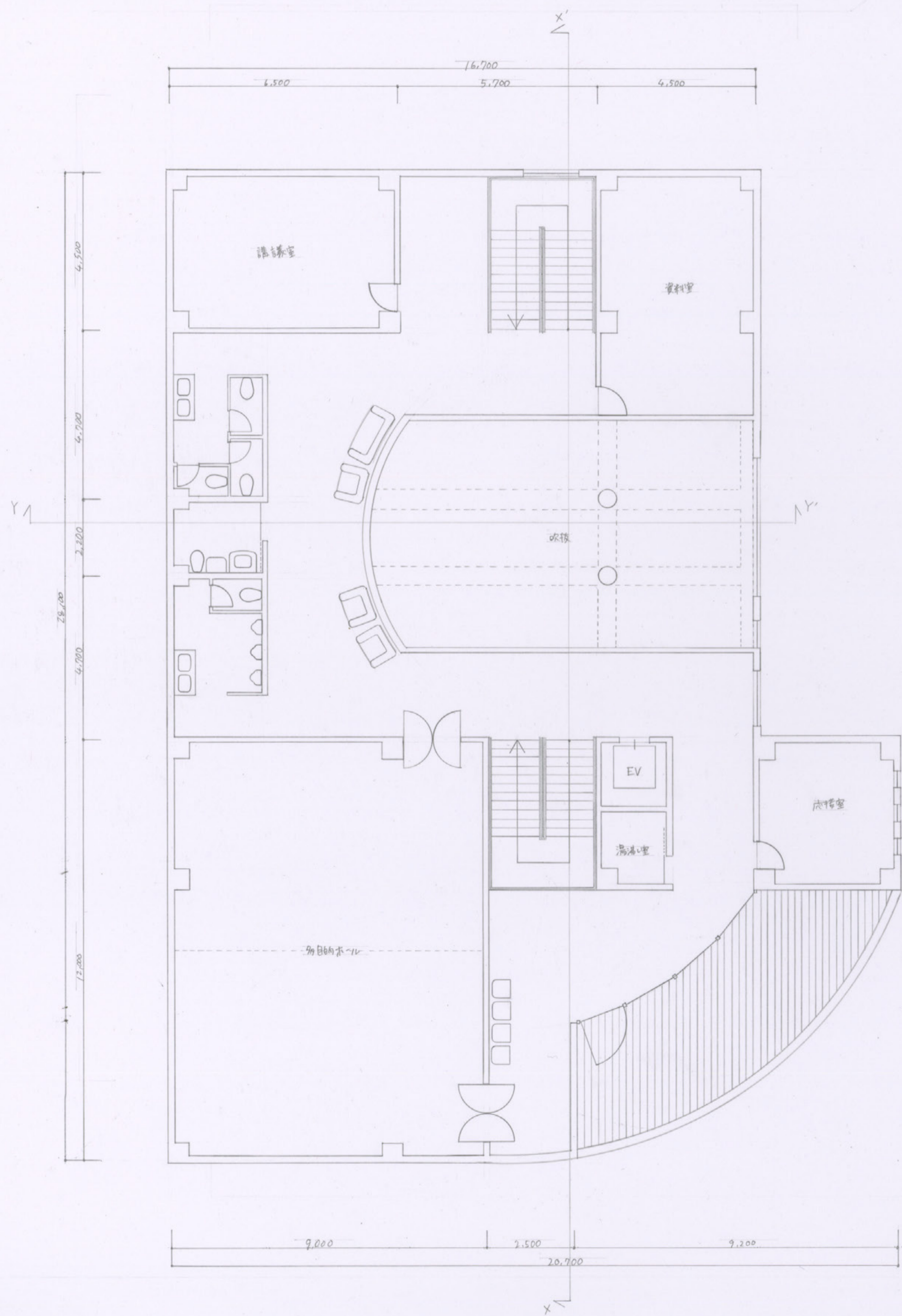
仕上り表

外部	屋根	塗膜防水		
	外壁	漆喰、吉野杉		
	開口部	アルミサッシ、吉野杉		
内部		天井	壁	床
	エントランス	化粧石膏吸音板	漆喰	タイルカーペット
	多目的ホール	化粧石膏吸音板	漆喰	タイルカーペット
	アトリエ	コンクリート打ち放し	コンクリート打ち放し	フローリング
	カフェ	小梁現の上漆喰塗り	漆喰	フローリング

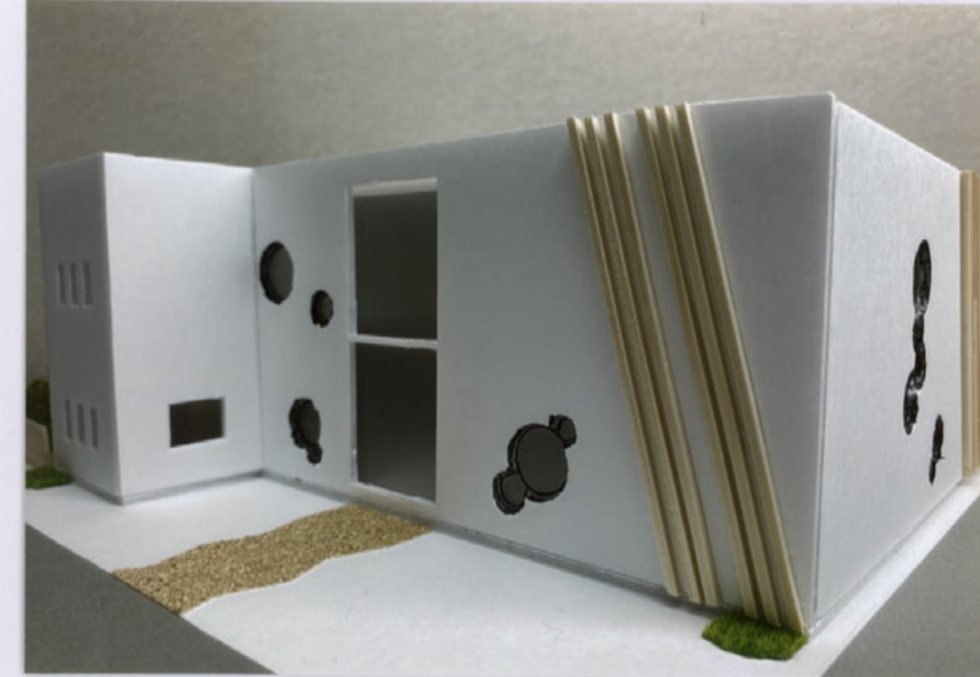
面積表

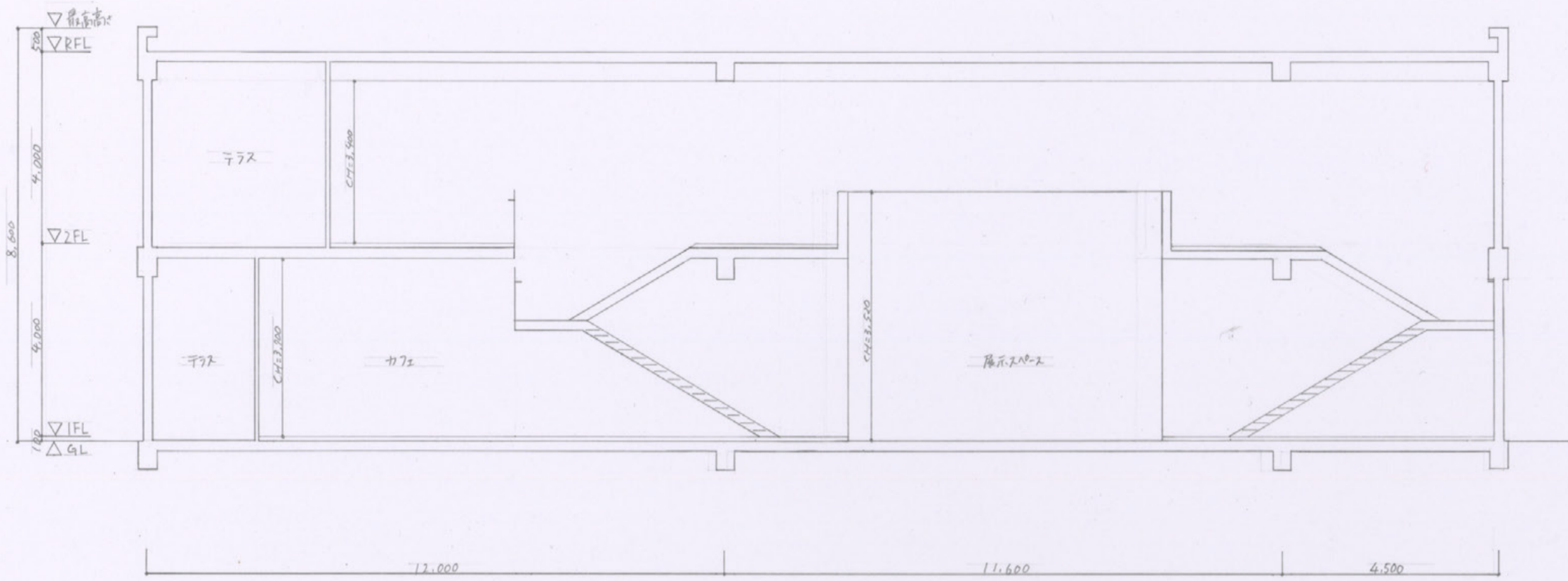
1階	466,450 m ²
2階	437,194 m ²
延床面積	903,644 m ²
建築面積	466,450 m ²
敷地面積	744,000 m ²



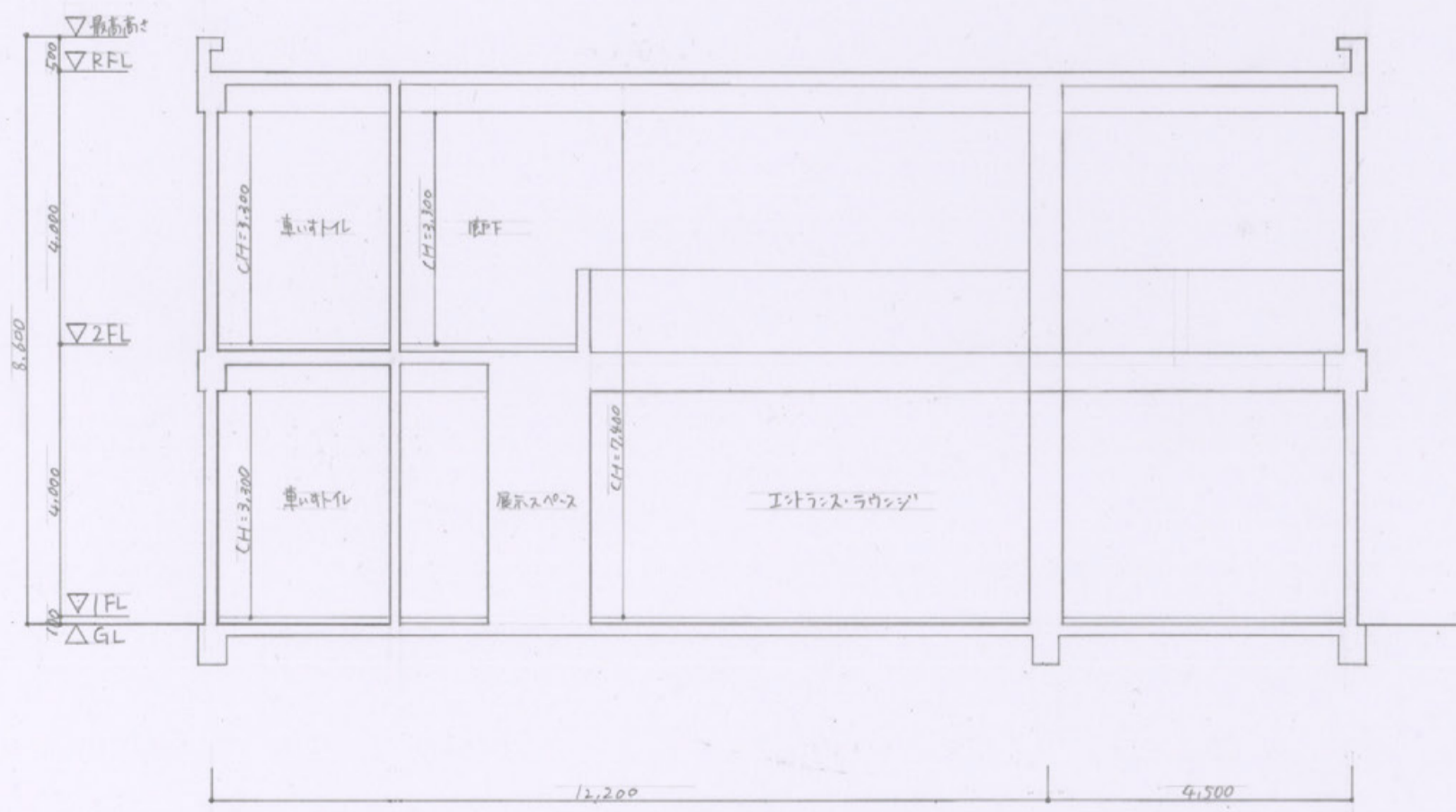
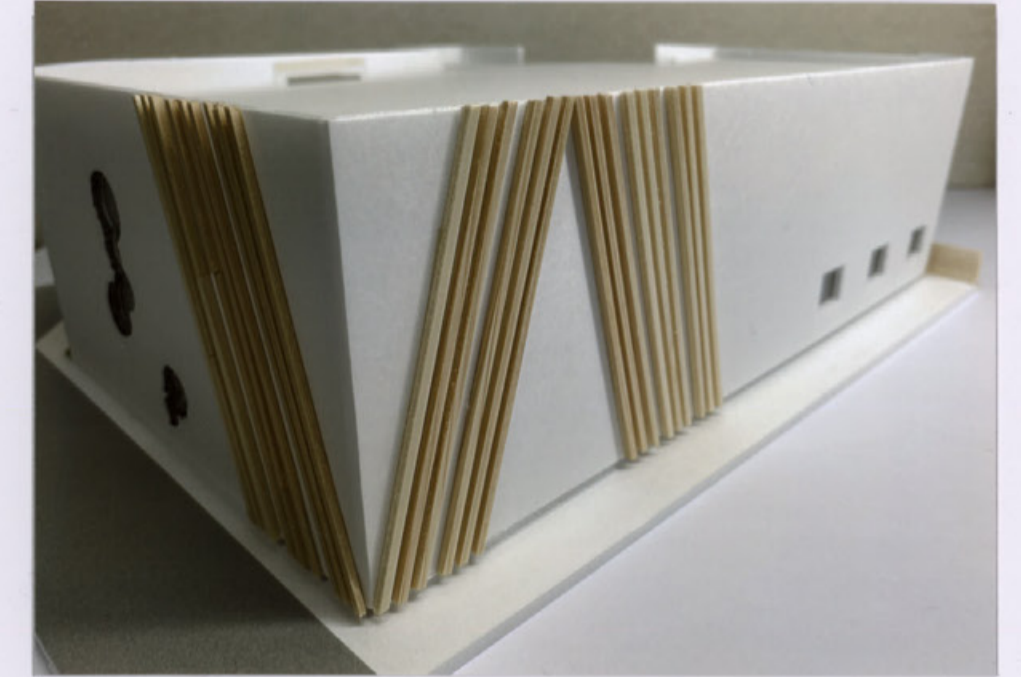


2階平面図 S=1/100



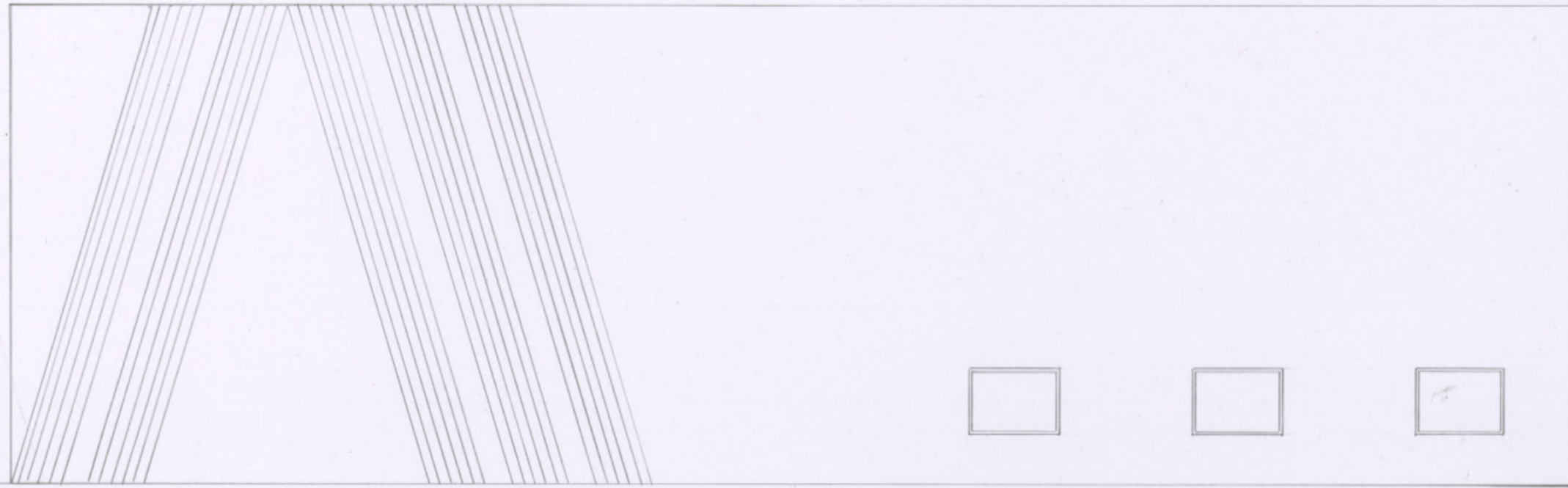


X-X' 断面図 S=1/100

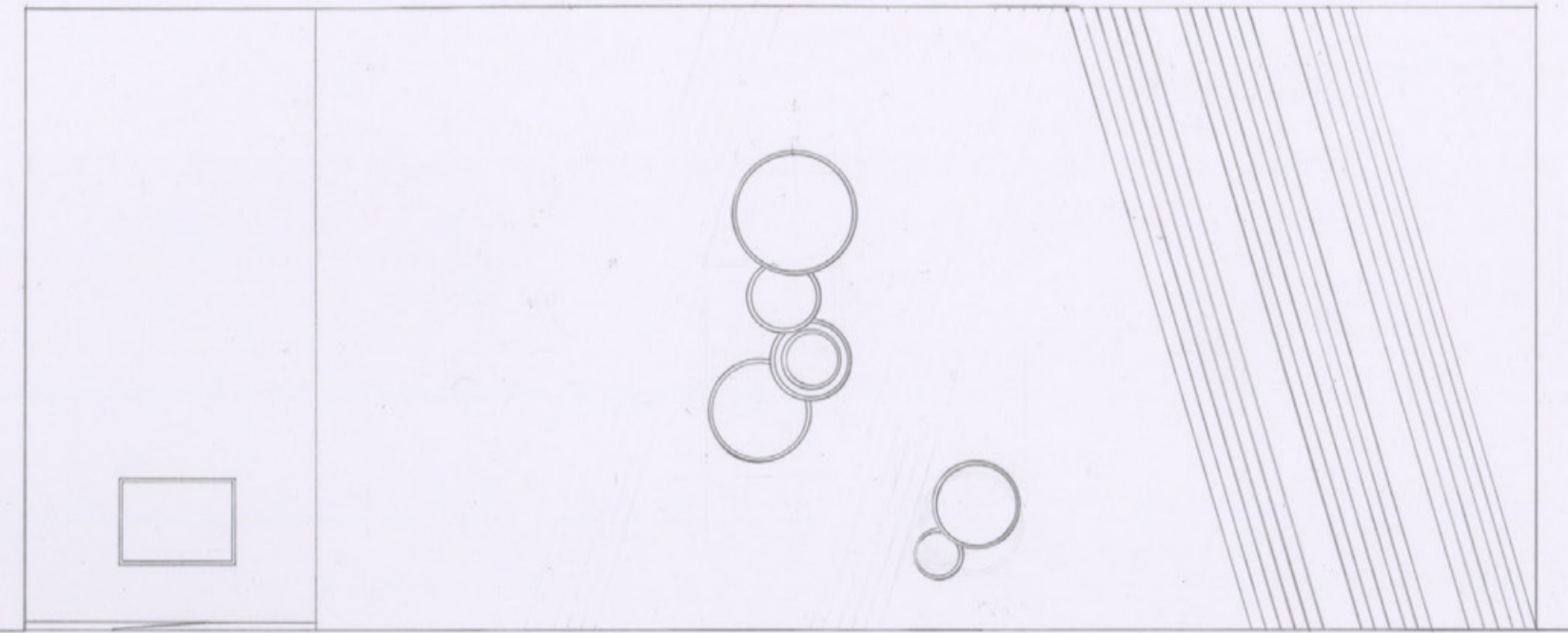


Y-Y' 断面図 S=1/100

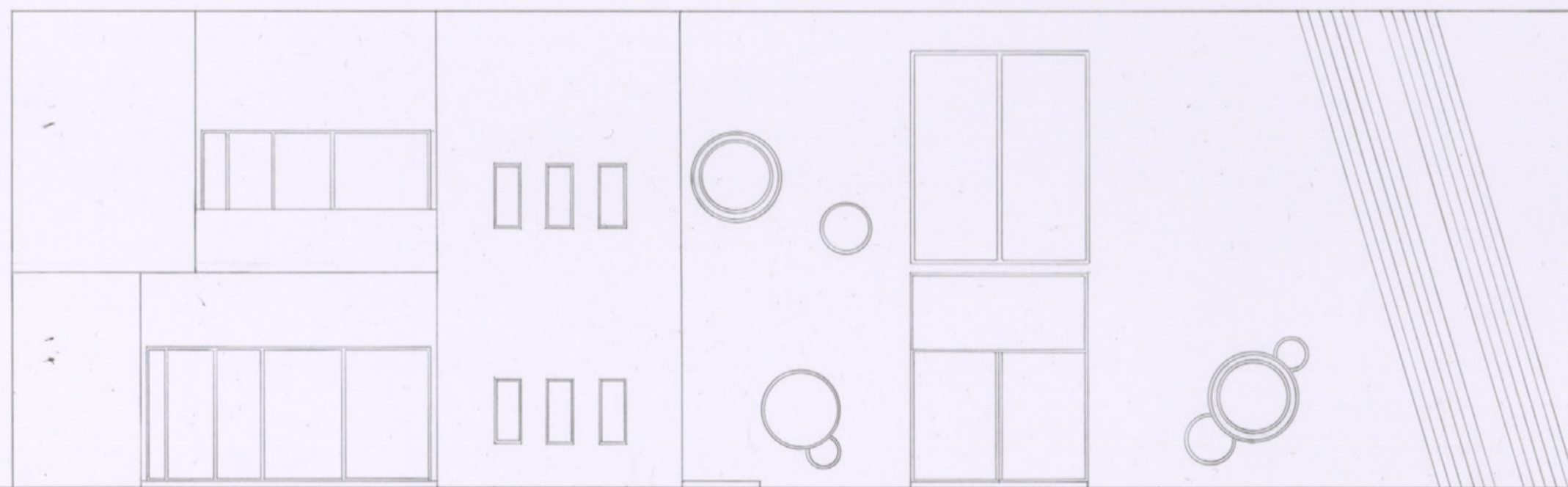




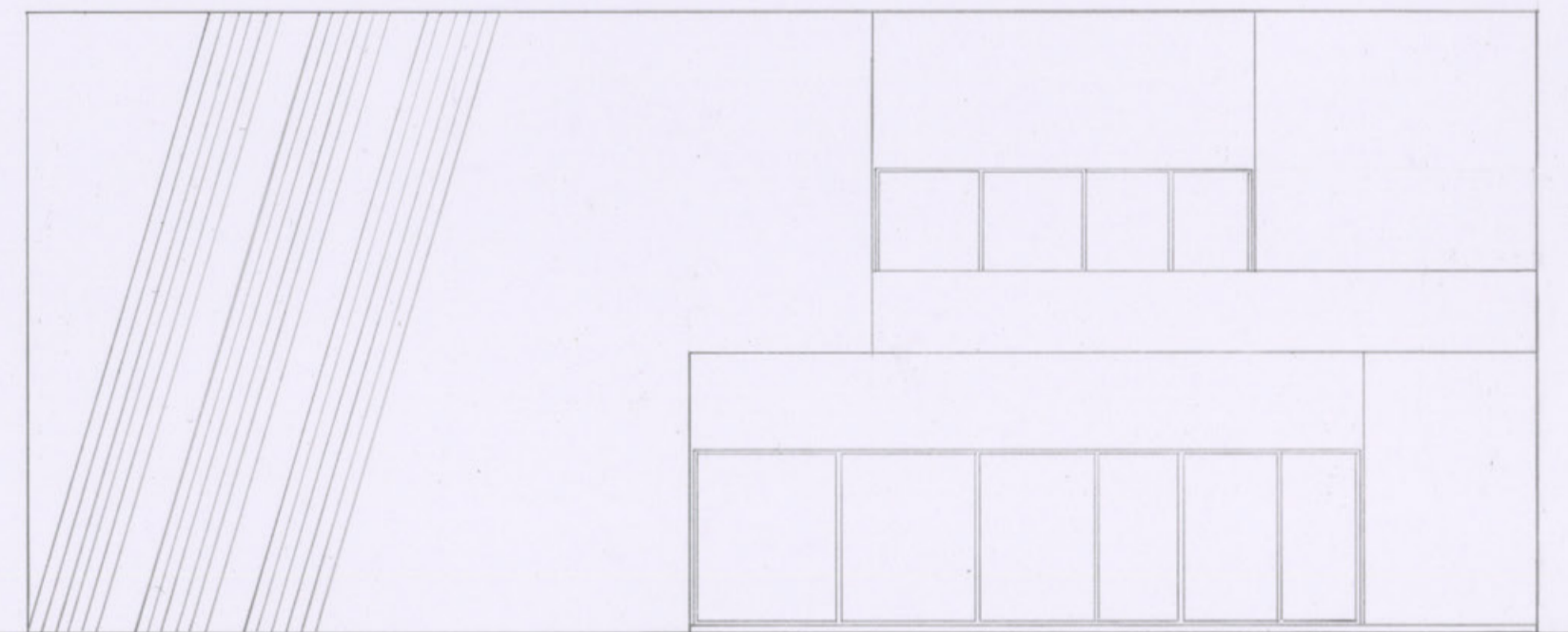
西立面图 S=1/100



北立面图 S=1/100



东立面图 S=1/100



南立面图 S=1/100

奈良との繋がり



コンセプト

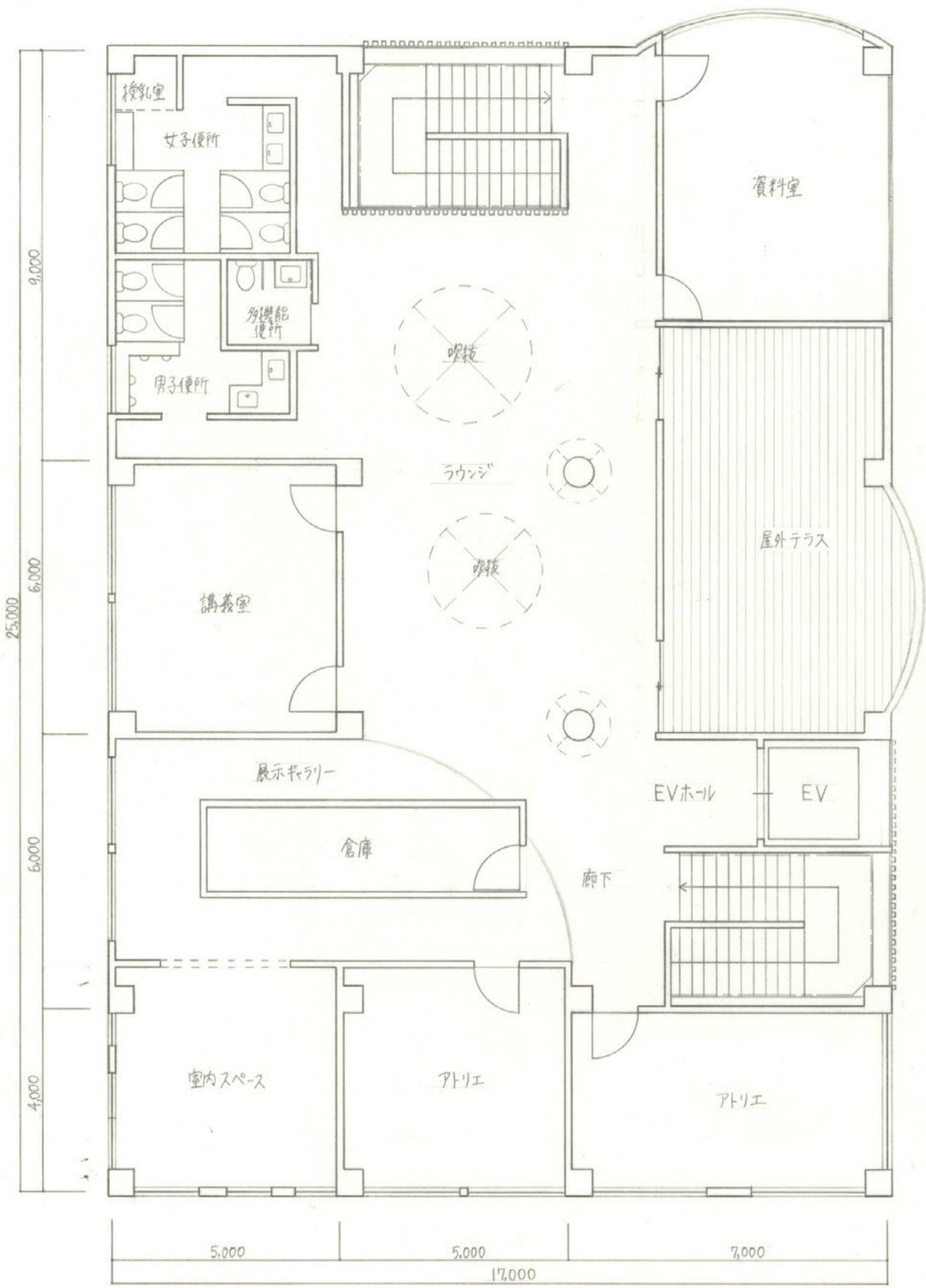
奈良で有名なからくりおもちゃ製作にフック体験し、子供から大人まで楽しむことができ、外との繋がりを感じられる施設を設計しました。観光客や利用者、通りすがりの人々など誰もが自由に利用して頂けるために一階カフェテラスの前に座れるスペースを設けました。また、利用者が快適な空間を堪能して頂くために、一階と二階のラウンジを広く設けくつろぐスペースとして二階に室内スペースと屋外スペースを設けました。そして、ラウンジには吹き抜けを設け、階段をガラス張りにするこにより開放感があり外の光を取り入れ、空間全体が明るくなるよう設計しました。

仕上げ表

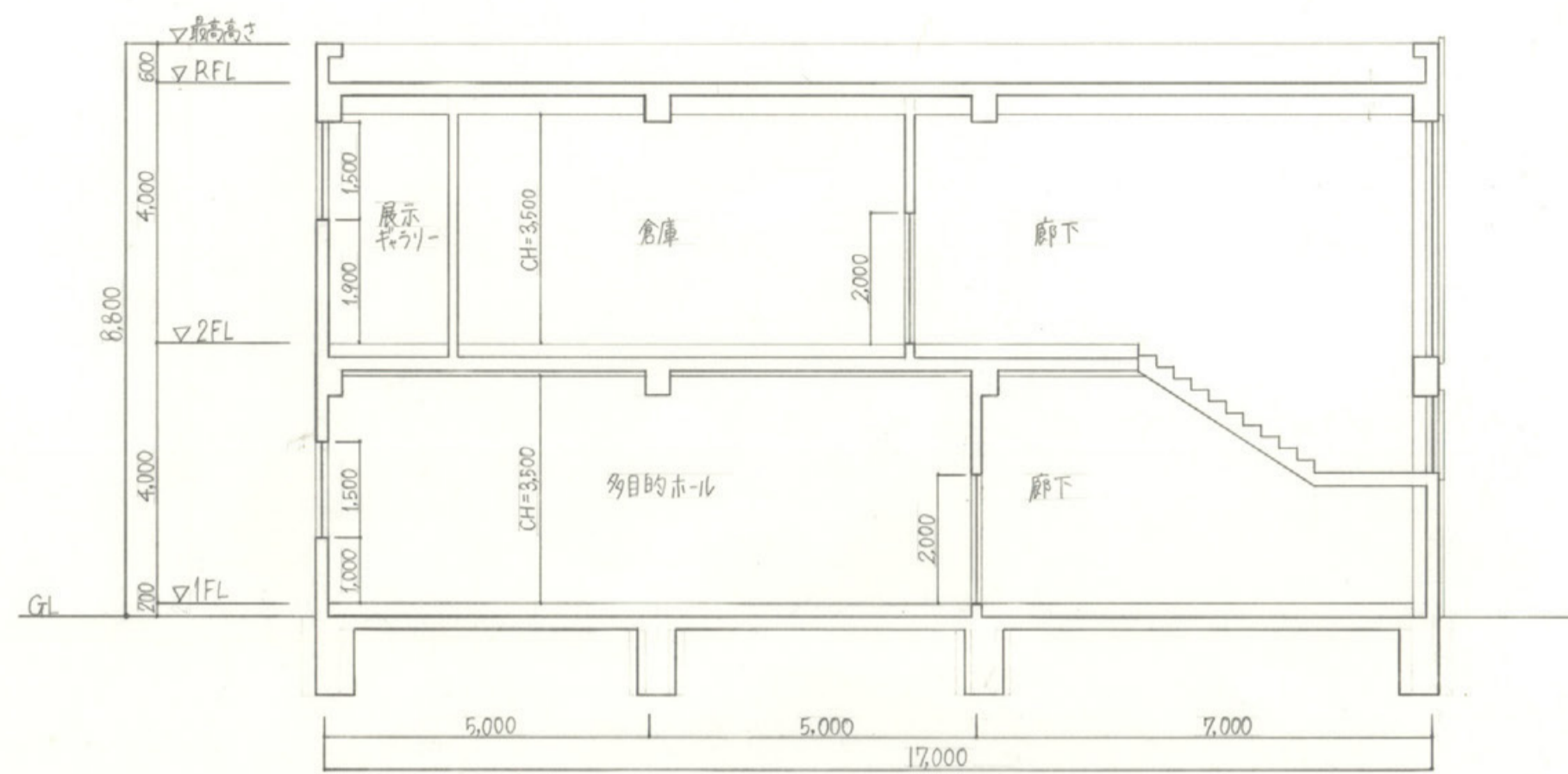
外部仕上げ	屋根	アスファルト防水		
	外壁	漆喰塗・立板材		
	テラス	ウォールパット		
内部仕上げ		床	壁	天井
	ラウンジ	カーペット	漆喰塗	フラット羽目板
	多目的ホール	フローリング	コンクリート吹き付け	コンクリート吹き付け
	カフェ	フローリング	漆喰塗	フラット羽目板

面積表

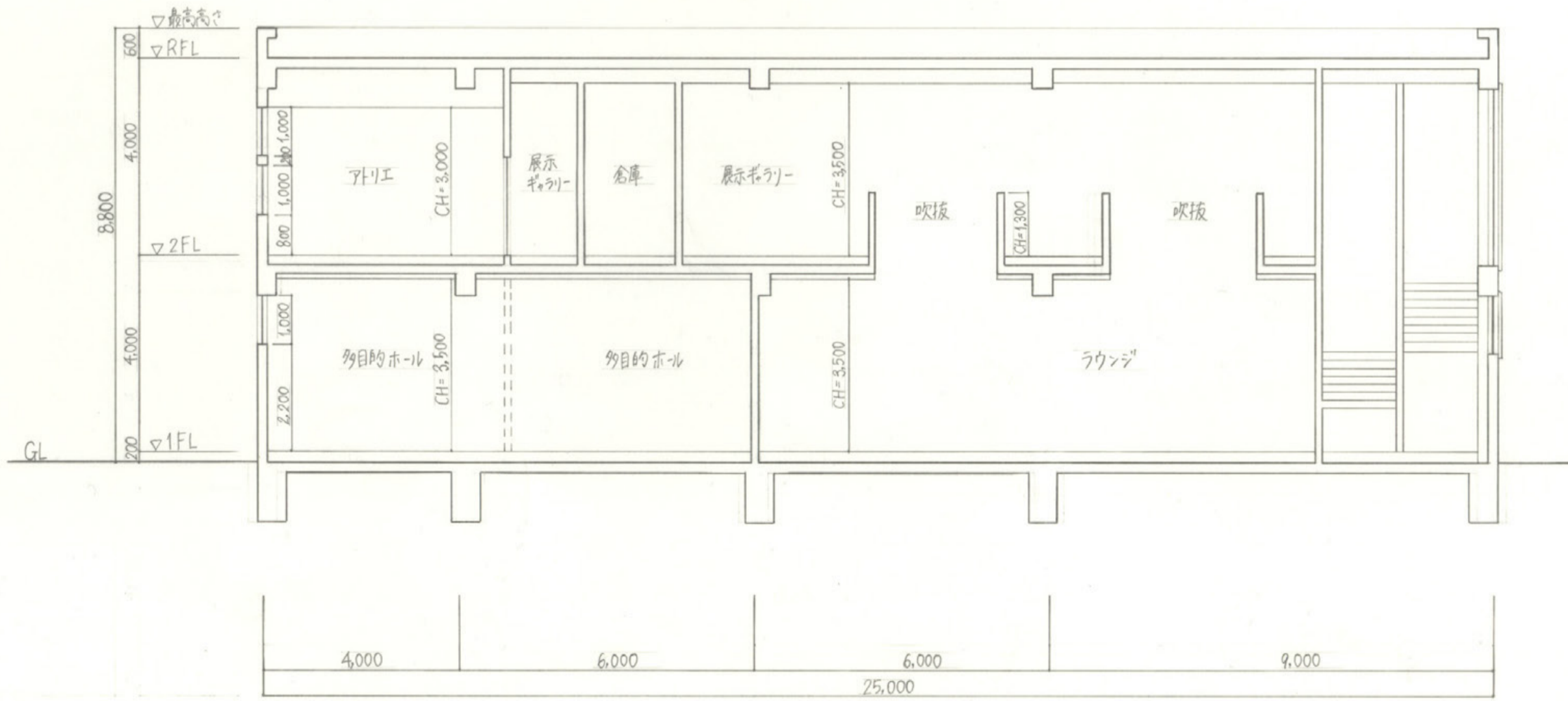
敷地面積	744 m ²	
建築面積	427.4 m ²	
床面積	1階	407.6 m ²
	2階	368.9 m ²
延べ床面積	776.5 m ²	



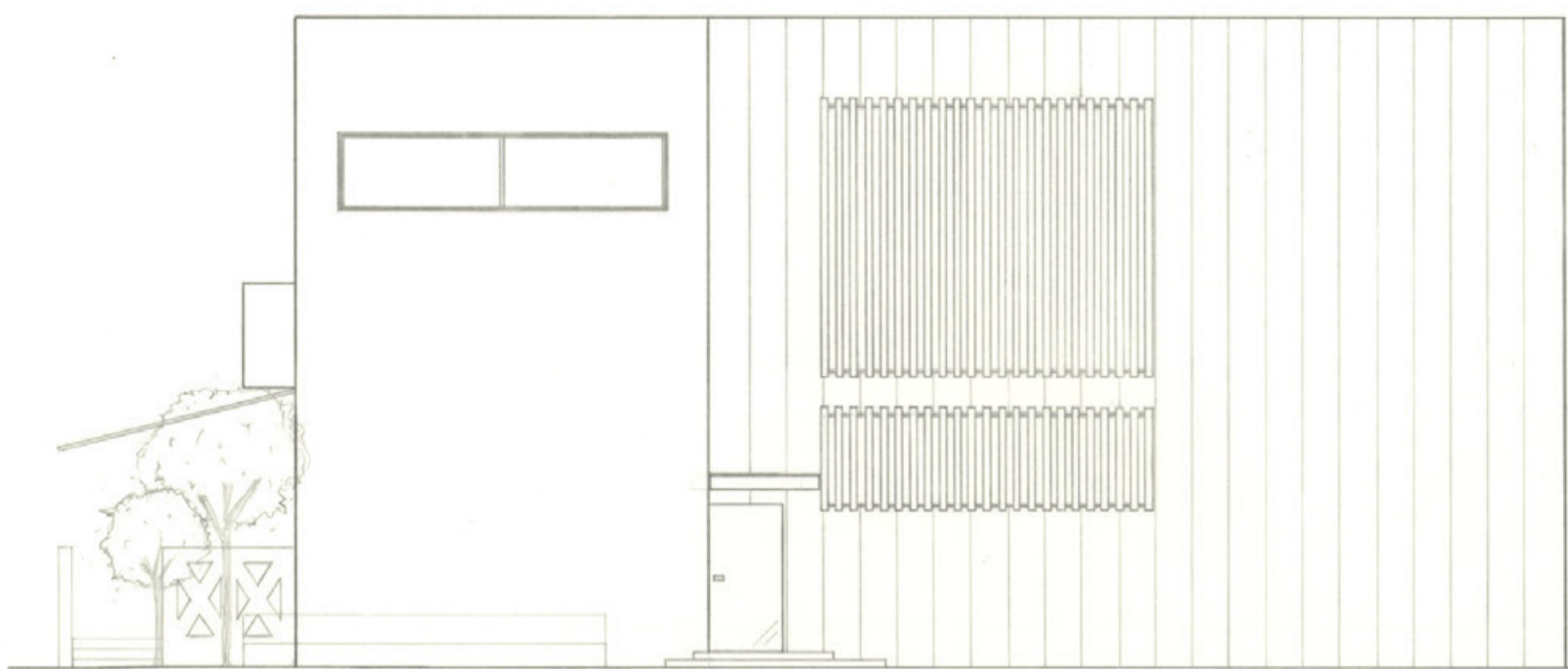
2階平面図



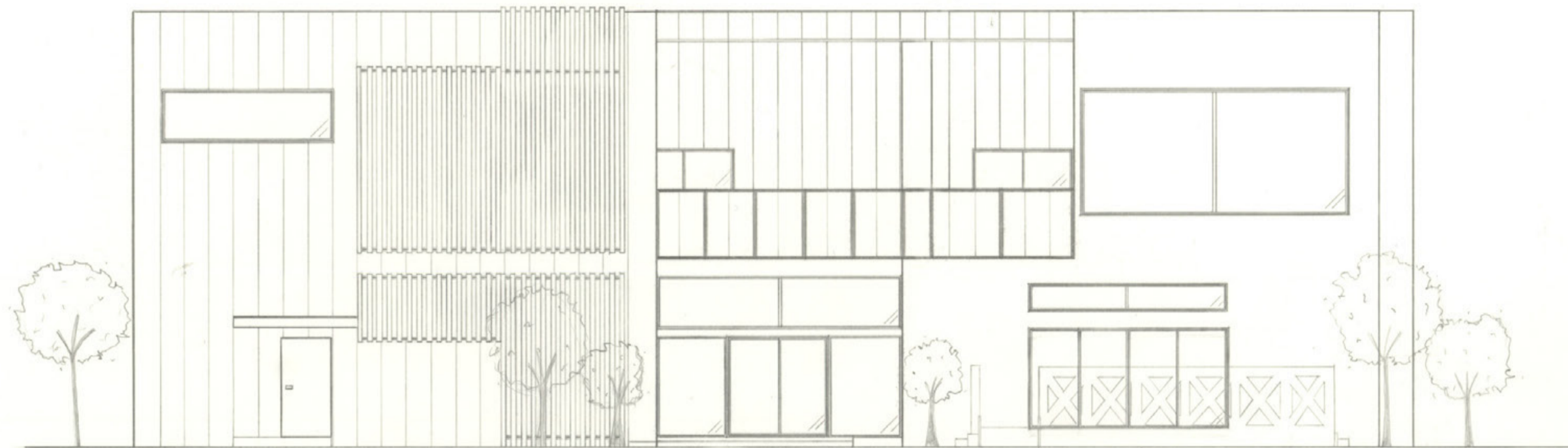
A-A'断面図



B-B'断面図

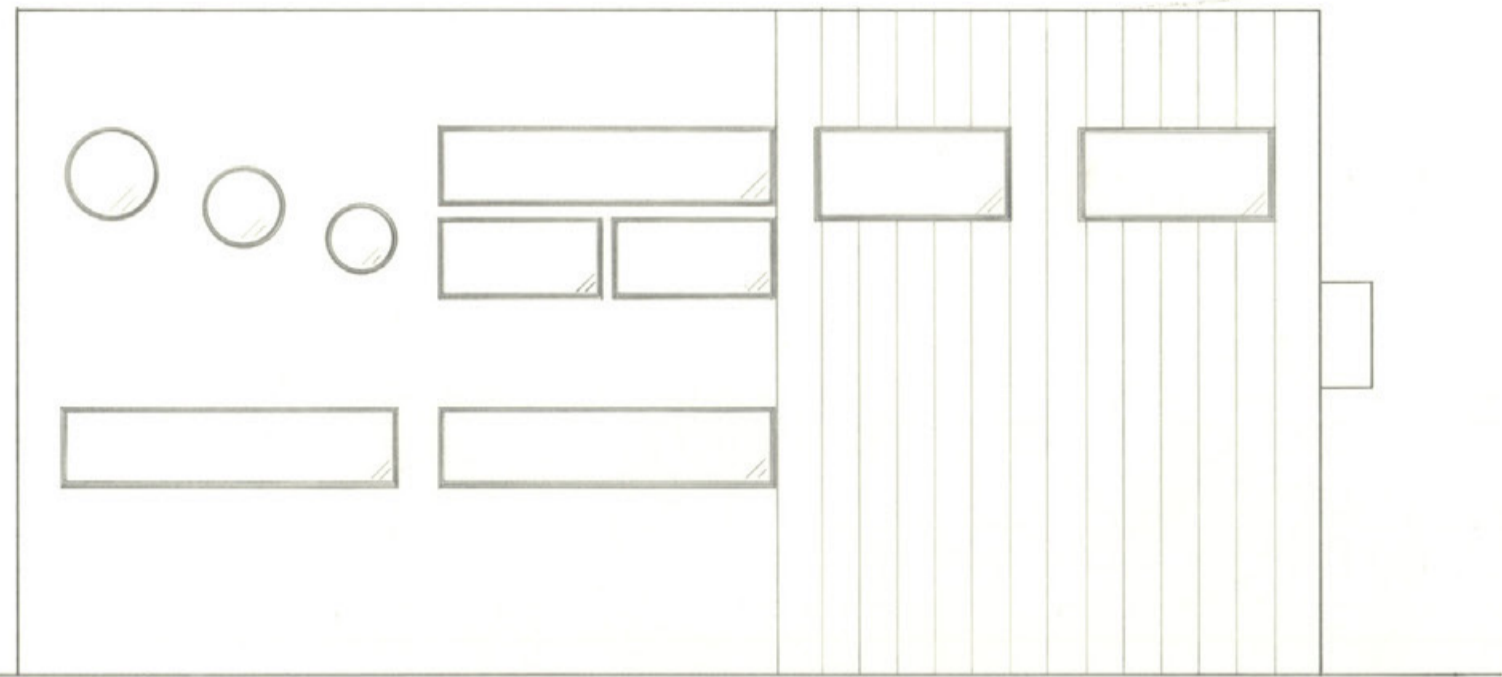


北側立面图

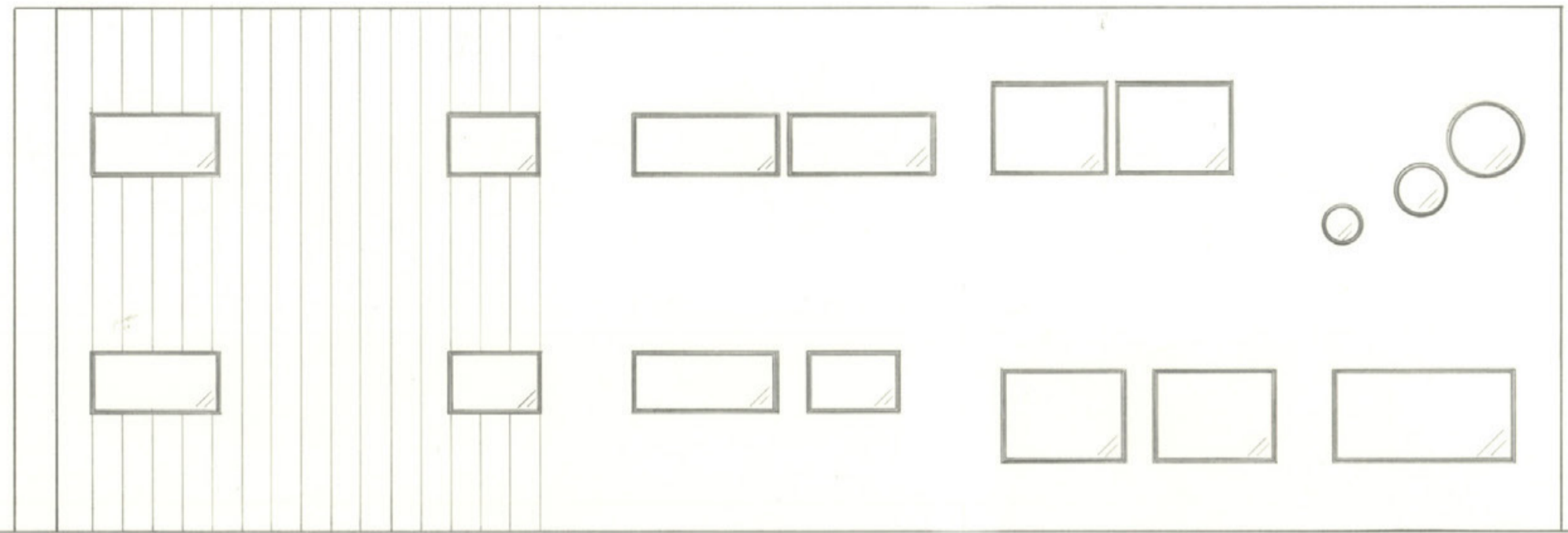


東側立面图

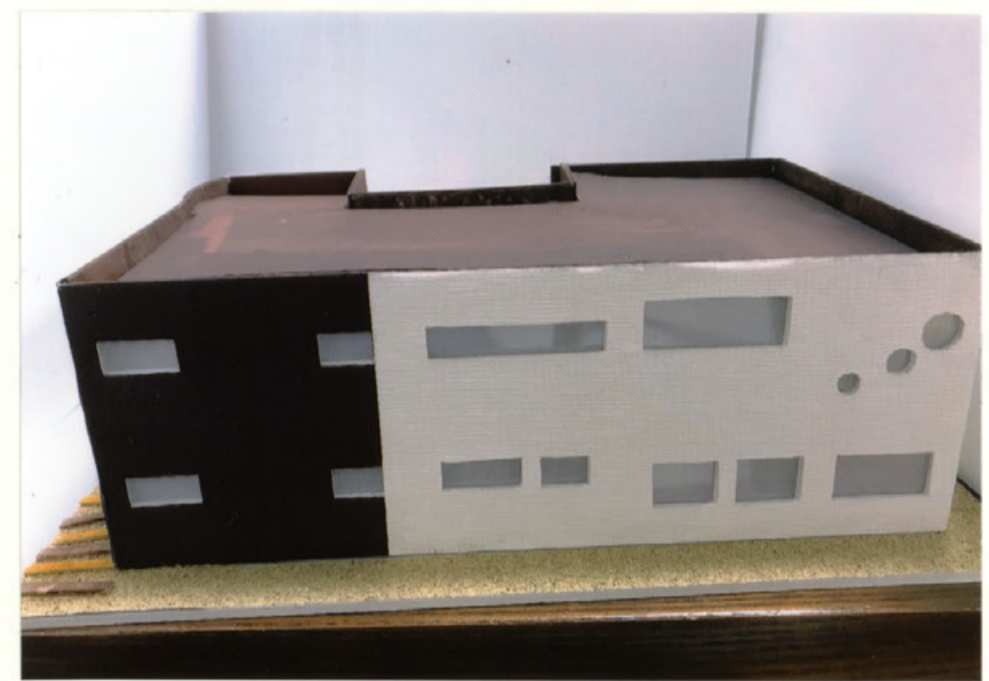
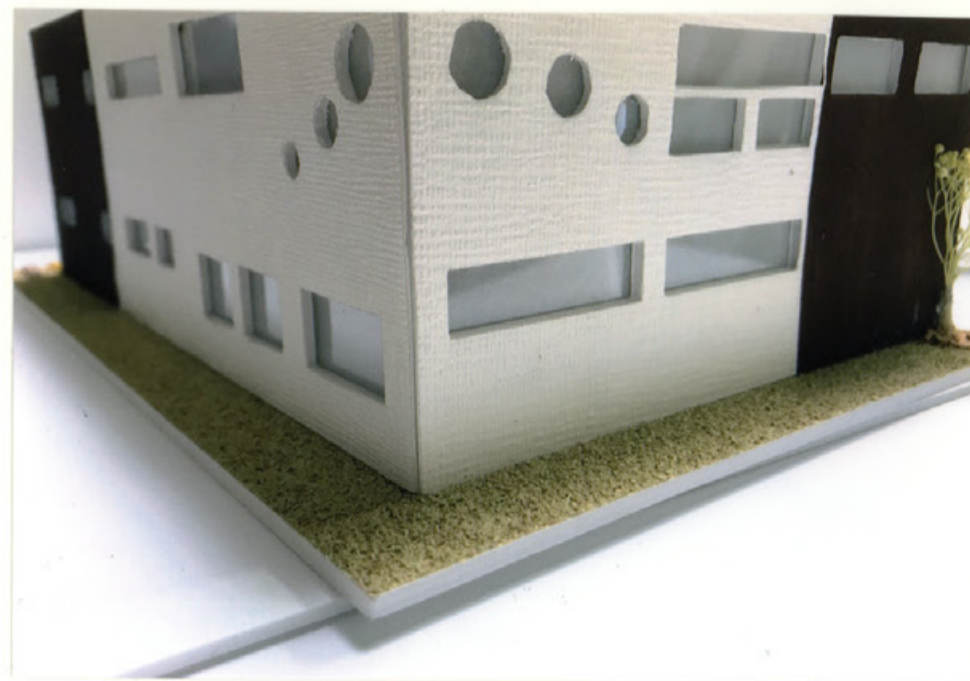




南側立面図



西側立面図



鹿の贈り物

コンセプト

奈良に来て鹿せんべいをおげるだけでなく、その奈良の鹿について知ってもらうために、伝統工芸品である「鹿角細工」の体験施設を考えました。平面図は鹿の漢字の「鹿」の部分を参考にしました。北側の階段を鋭くすることで踊り場が広くなり、展示スペースを設けました。エレベーターの壁には写真が展示されています。また窓が大きいので景色を眺めることができます。東立面図は鹿の角を表現し、北から歩いてきた人が見ると2匹の鹿の顔のように見えます。他の立面図は鹿の模様を表現し、この建物が鹿になっています。「鹿の贈り物」というのは、神の遣いとされている鹿の角で鹿角細工ができて、この建物と鹿の影響を受けたからです。

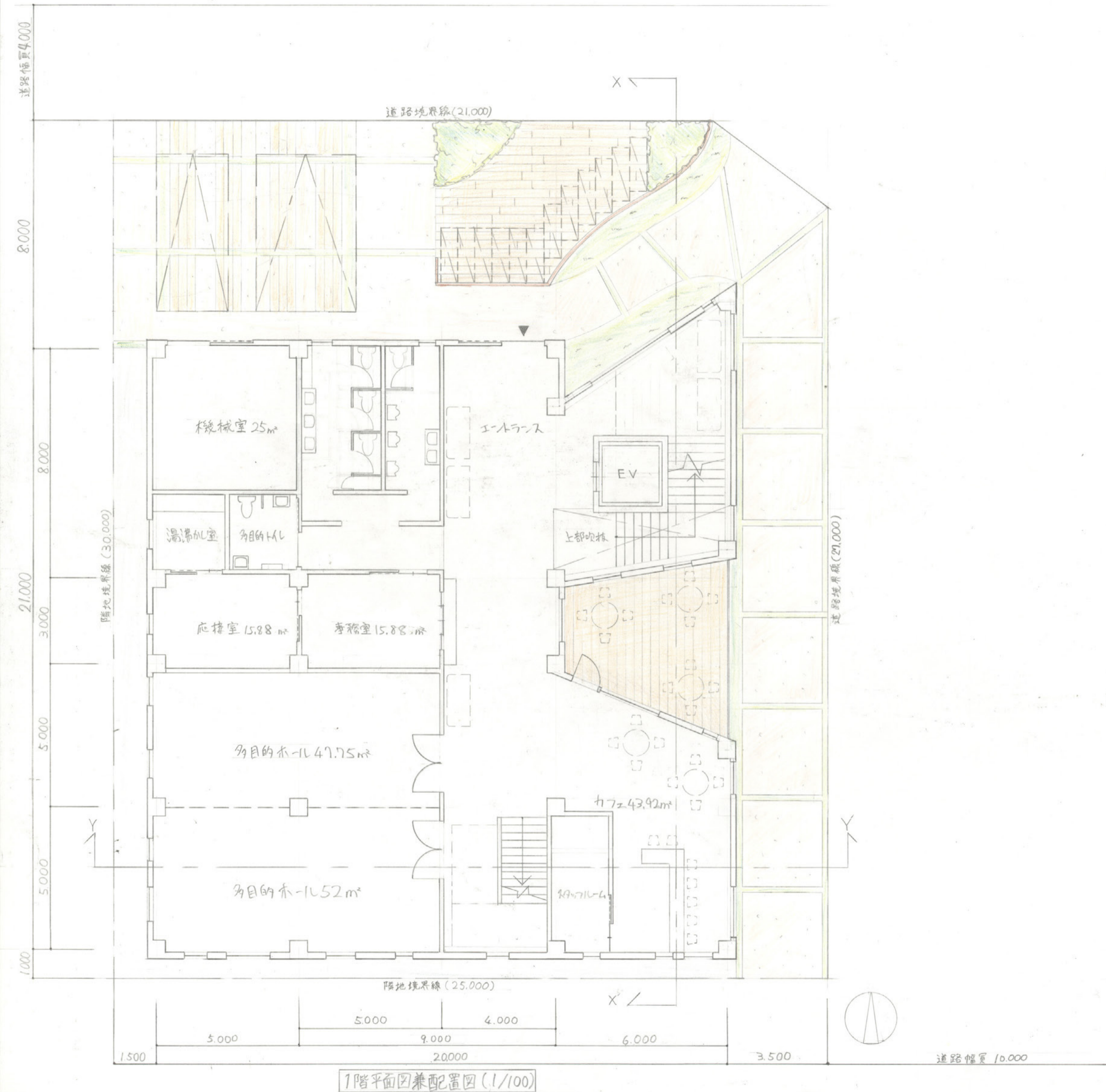
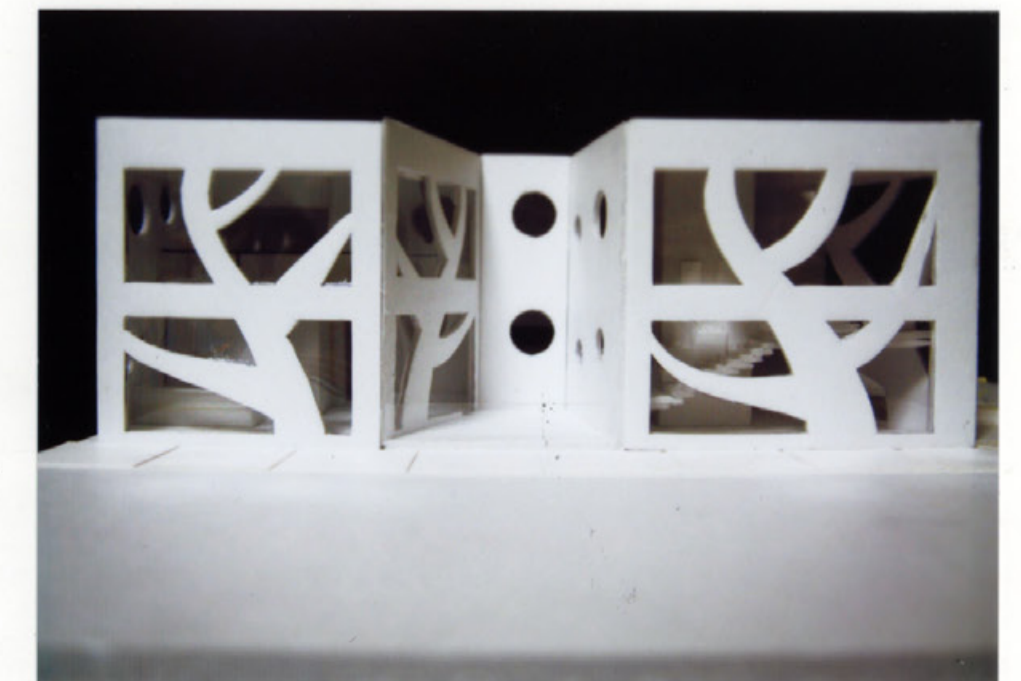
仕上表

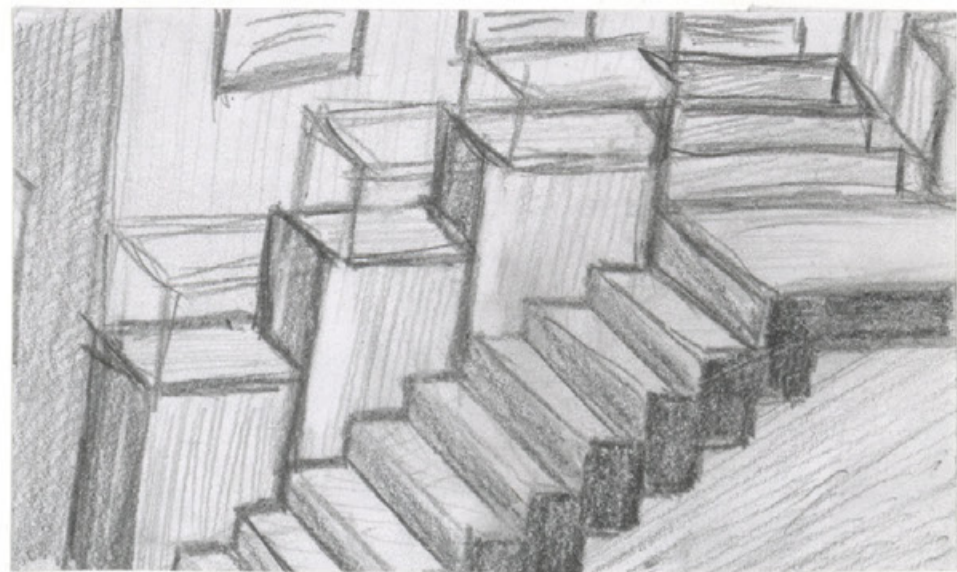
外	外壁	R-C壁 吹き付けタイル 巾着肌
部	屋根	塗膜防水
仕	開口部	樹脂サッシ
上	カフェ	イパフロデッキ

内部仕上	天井	壁	床
エントランス	珪藻土+フェリスストーン	珪藻土+フェリスストーン	タイルカーペット
多目的ホール	ロックウール化粧吸音板	ロックウール化粧吸音板	タイルカーペット
カフェ	珪藻土+フェリスストーン	珪藻土+フェリスストーン	イパフロリング
アトリエ	珪藻土+フェリスストーン	珪藻土+フェリスストーン	イパフロリング

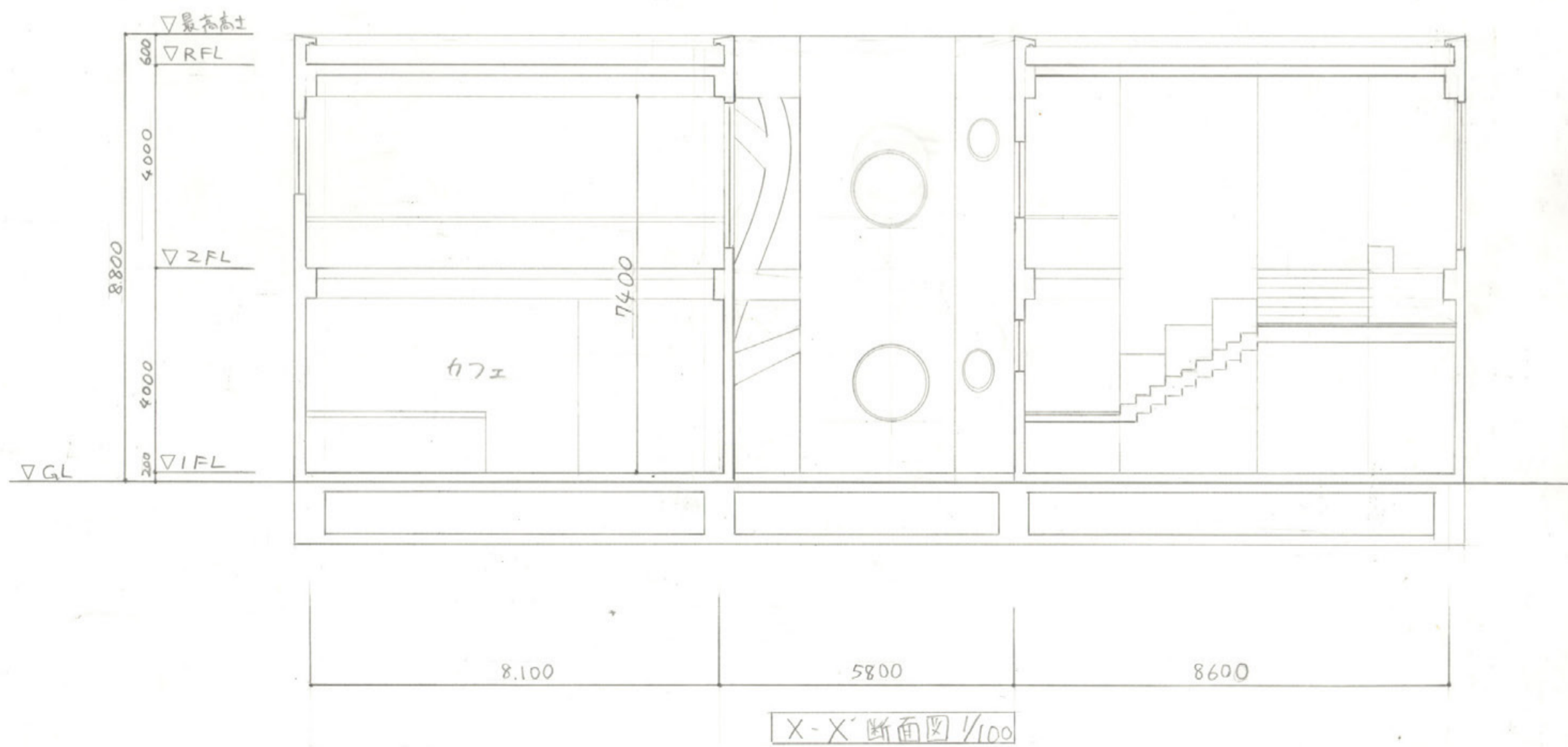
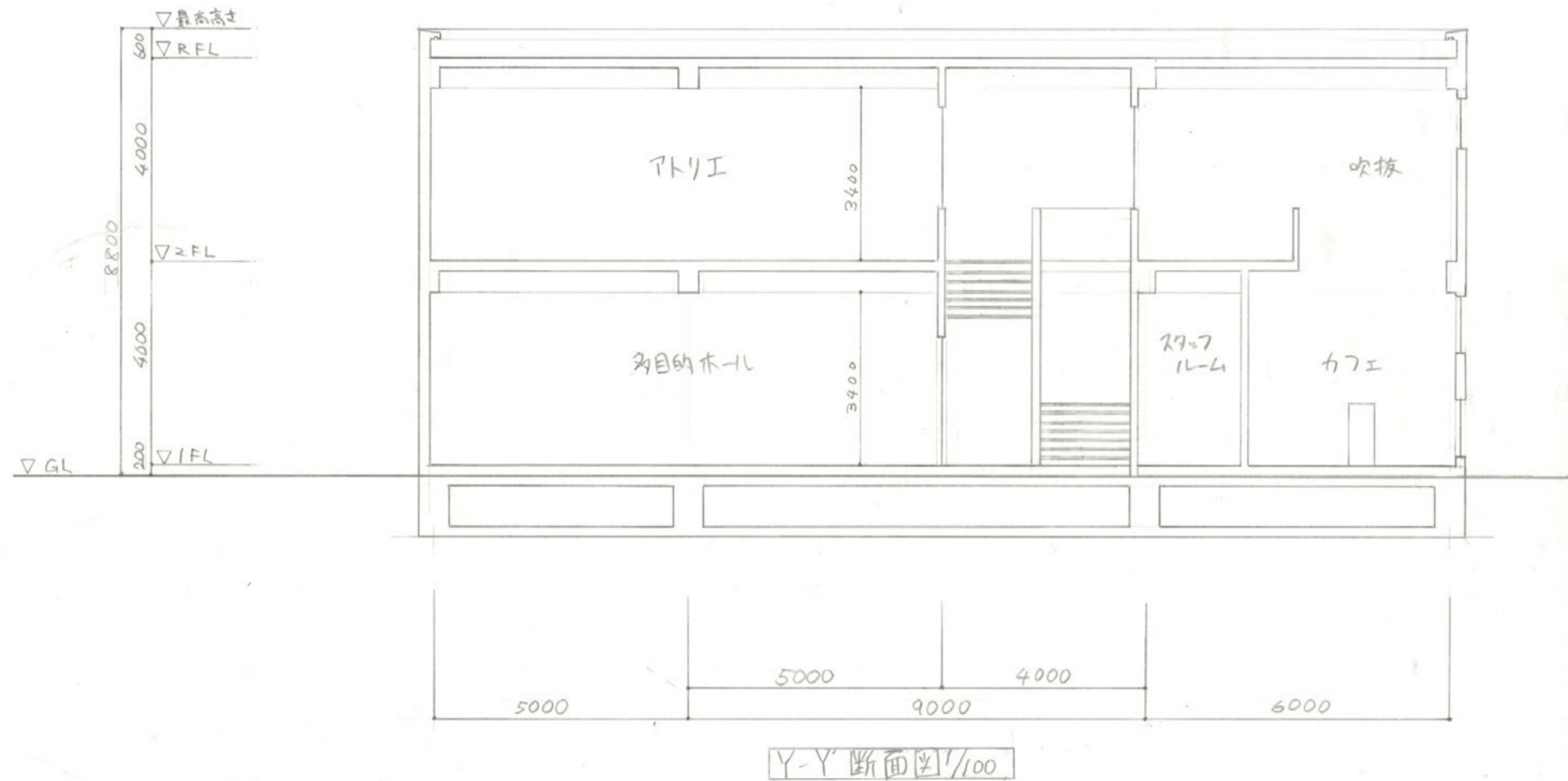
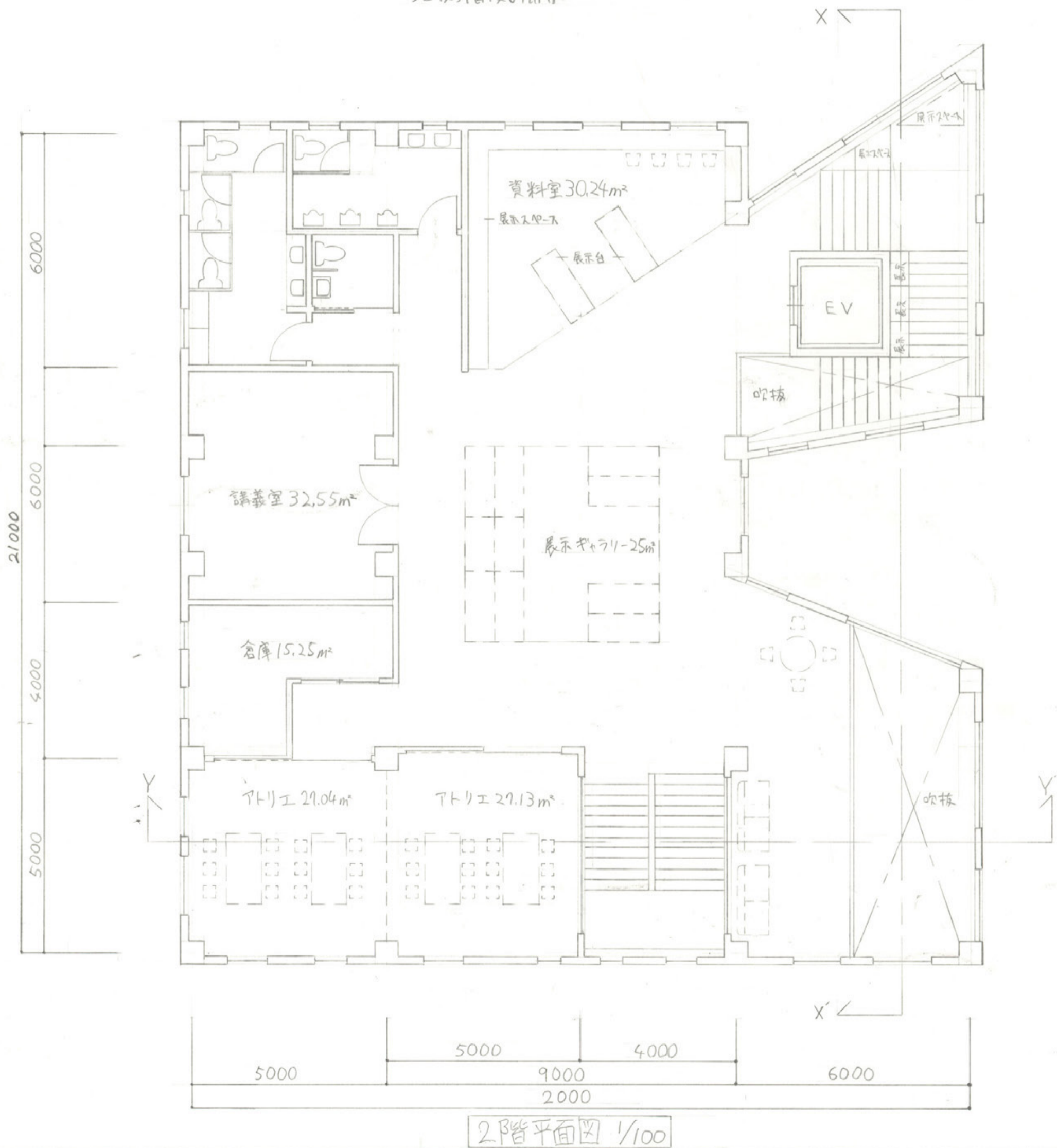
面積表

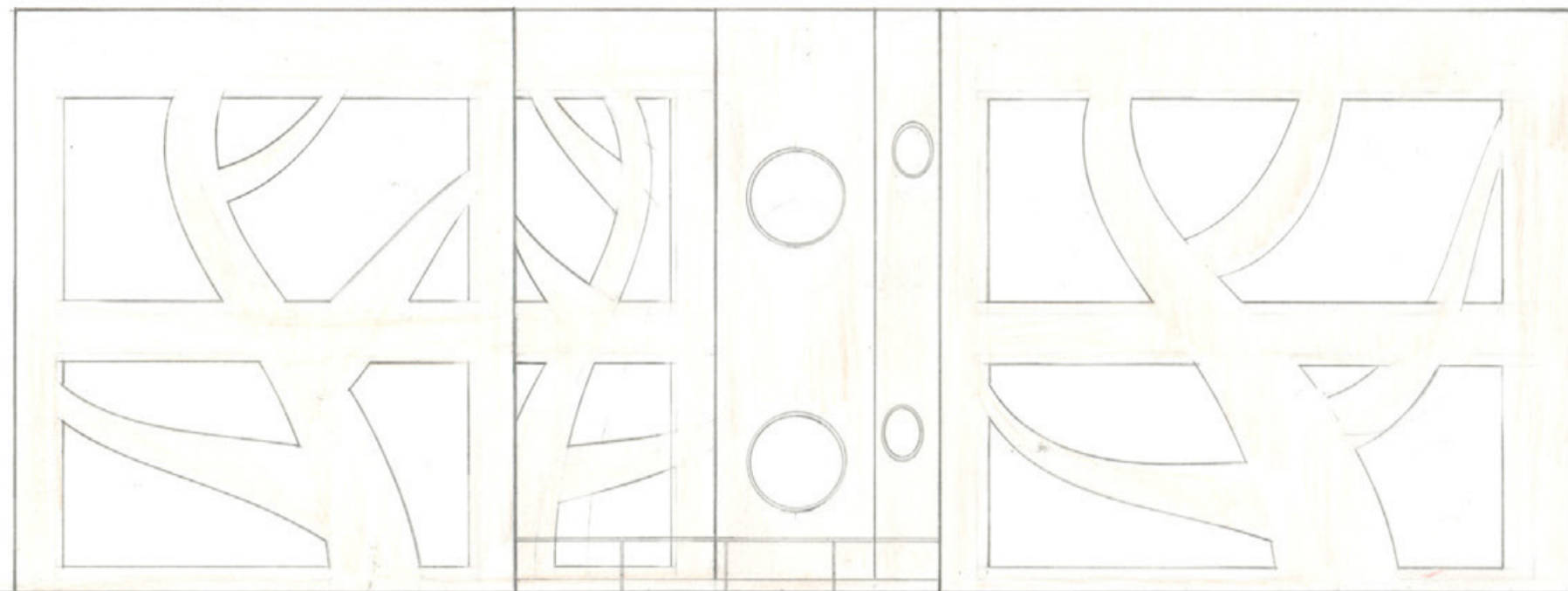
敷地面積	744.00 m ²	
建築面積	390.00 m ²	
床面積	1階	390.00 m ²
	2階	354.45 m ²
延床面積	744.45 m ²	



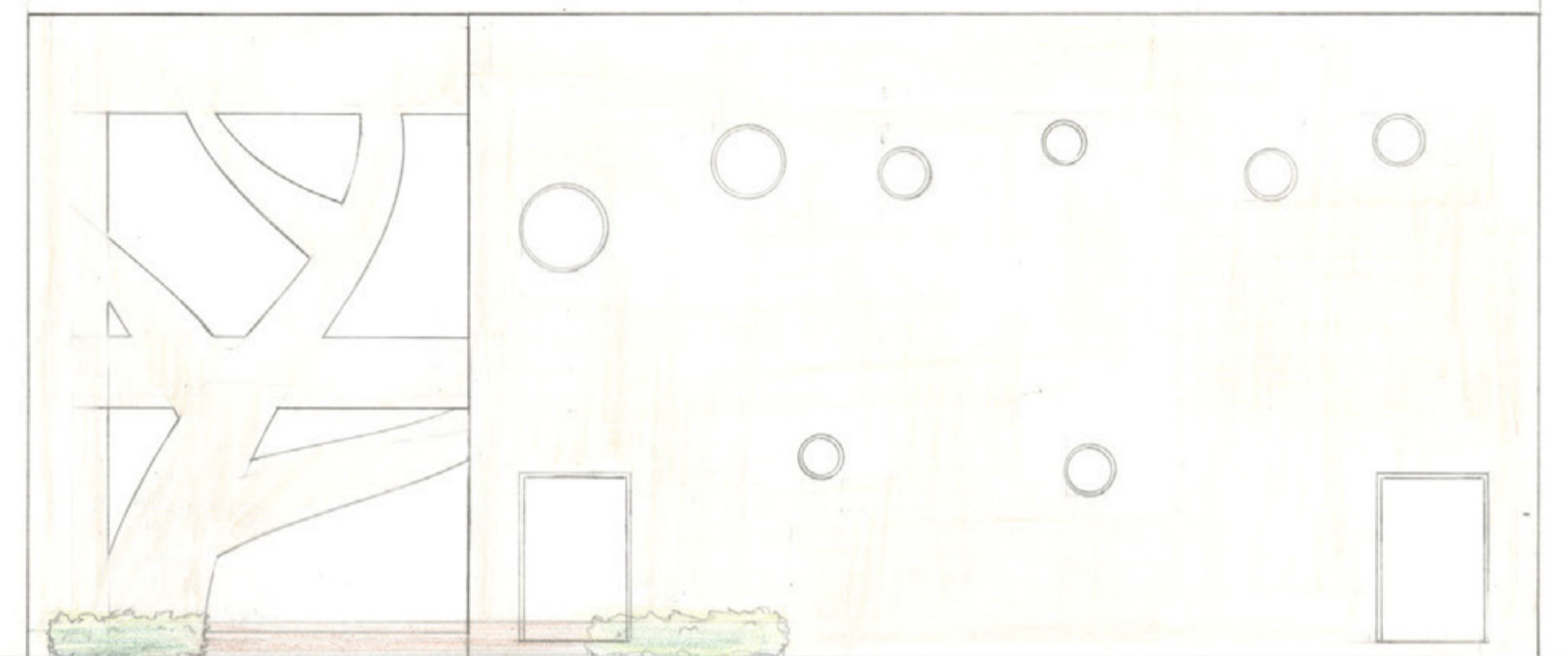


北側階段の提示

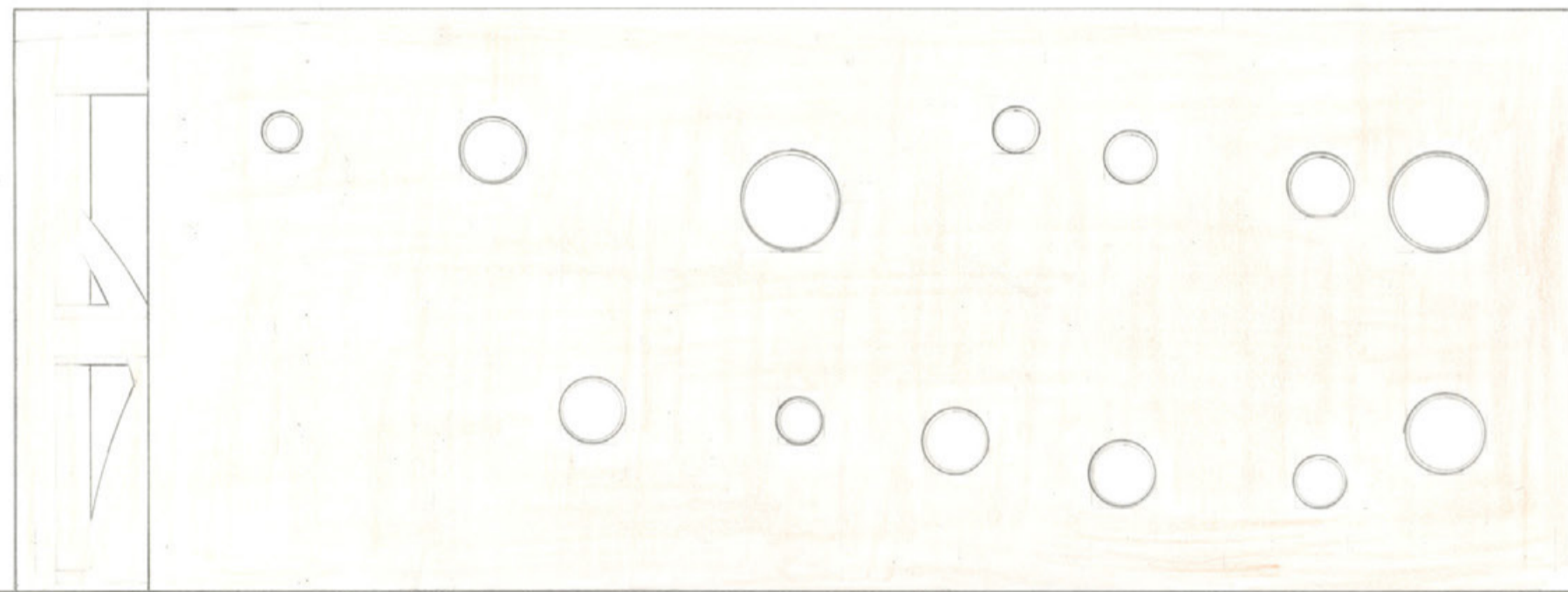




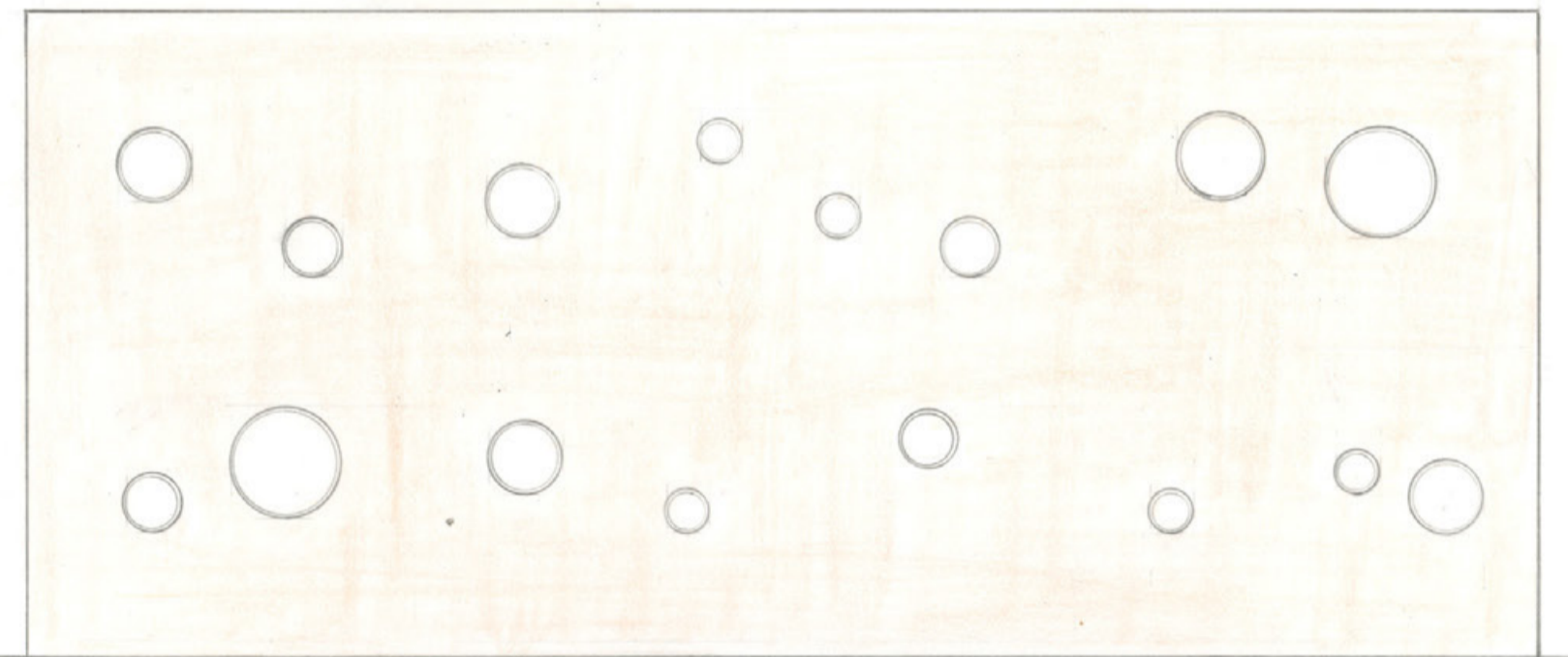
東立面図 1/100



北立面図 1/100



西立面図 1/100



南立面図 1/100

